



2018年度（2019年2月期）第1四半期 （2018.3.1～2018.5.31）決算説明会



イオンモール株式会社
(東証1部:8905)

2018年7月4日



2018年度第1四半期 決算説明会

決算概要

連結業績概要	P 3
海外 既存モール専門店売上前期比	P 4
海外 黒字化モール	P 5
海外 四半期別業績推移	P 6
海外 2018年度新規モール（中国）／2018年度既存モールリニューアル（中国）	P 7
海外 2018年度新規モール（アセアン）	P 8
日本 既存73モール専門店売上前期比	P 9-11
日本 ①ローカリゼーションの推進	P 12-15
日本 ②ハピネスモール	P 16
日本 ③海外専門店の日本への誘致	P 17
日本 モール事業 2018年度既存モールリニューアル	P 18-19
日本 モール事業 2018年度新規モール	P 20-21
日本 都市型ショッピングセンター事業 2018年度既存店舗リニューアル	P 22
個人向け社債の発行	P 23
ダイバーシティ経営の推進／ESGの取り組み	P 24
損益計算書（要約）	P 25
セグメント別 営業利益改善額	P 26
損益増減明細	P 27
貸借対照表（要約）	P 28
キャッシュ・フロー計算書（要約）	P 29
連結業績計画（2018年度）	P 31-32
添付資料	P 34-37

2025年にめざす姿

2025年にめざす姿	P 39
営業利益構成比 / 経営指標	P 40

中期経営計画（2017～2019年度）

成長施策	P 43-44
連結数値計画	
連結業績	P 46
セグメント別営業利益	P 47
新規出店数と活性化モール数	P 48
設備投資計画	P 49
資金調達計画	P 50
海外事業	
アジアにおける成長機会の獲得	
Ⅰ. ドミナント出店によるブランディングメリットの享受	P 52-55
Ⅱ. 競争力のあるモールの開発・管理運営	P 56
Ⅲ. 営業収益の向上に向けた取り組み	P 57
中期3カ年 新規出店計画	P 58
海外事業 営業利益推移	P 59
北京・天津エリア	P 60
江蘇・浙江エリア／湖北エリア／広東エリア	P 61
ベトナム	P 62
インドネシア／カンボジア	P 63-64
国内事業	
日本と米国におけるS C業界の現況	P 66
国内マーケットの認識	P 67
新たな国内需要の発掘	
Ⅰ. ハピネスモールの取り組み	P 68-70
Ⅱ. ローカリゼーションの推進	P 71
圧倒的な地域No.1モールへの進化	
Ⅰ. 効果の大きい増床・リニューアルの推進	P 72-76
Ⅱ. モール空白エリアへの新規出店	P 77
Ⅳ. 専門店向けESの向上	P 78
都市部における成長機会の獲得	
Ⅰ. 新生OPAのブランディング構築	P 79
成長を支えるファイナンスミックスと組織体制構築	
Ⅰ. 成長ビジネスモデルを支える資金調達	P 80
Ⅱ. ダイバーシティ経営の推進	P 81
Ⅲ. ESGの取り組み	P 82-83

決算概要

連結業績概要

営業収益、各利益段階において過去最高を更新し、

増収増益を達成

(単位：百万円、%)

	2018年度 第1四半期 実績	2017年度 第1四半期 実績	前期比		2018年度 上期計画	進捗率
			増減	%		
営業収益	76,759	71,095	5,663	108.0	157,000	48.9
営業原価	57,422	52,448	4,974	109.5	—	—
営業総利益	19,336	18,647	689	103.7	—	—
販管費	6,682	6,542	139	102.1	—	—
営業利益	12,654	12,104	549	104.5	24,500	51.7
経常利益	12,233	12,004	228	101.9	23,000	53.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,897	6,948	948	113.7	14,000	56.4
1株当たり 四半期純利益 (円)	34.72	30.55	—	—	61.55	—

(単位：百万円)

総資産	1,170,231
自己資本	368,286
自己資本比率 (%)	31.5
D/Eレシオ (倍)	1.2
ネットD/Eレシオ (倍)	1.0
EBITDA	24,572

	オープン数 ※1	店舗数 (2018年5月31日現在)
日本	2	152 ※2
中国	1	18
カンボジア	1	2
ベトナム	0	4
インドネシア	0	2
モール計	4	178
都市型ショッピングセンター(OPA)	0	21

※1 2018年3月1日から2018年5月31日までにオープンしたモール数。

※2 イオンリテール㈱の大型商業施設70の管理・運営業務受託を含む。

売上伸長の要因は

- ・ 所得、消費水準の向上により、顧客層が拡大。
- ・ 街づくりが進むエリアへの出店であり、商圈内の人口が増加。

中国 既存モール前期比

※海外現地法人の決算期末は12月末。

中国	2017年 1月-12月 (累計)	2018年 1月-3月 (累計)
専門店売上	118.0%	116.3%
来店客数	110.5%	103.1%

※前年度実績のあるモールで算出。

アセアン 既存モール前期比

アセアン	ベトナム		カンボジア	
	2017年 1月-12月 (累計)	2018年 1月-3月 (累計)	2017年 1月-12月 (累計)	2018年 1月-3月 (累計)
専門店売上	118.6%	116.7%	114.5%	112.3%
来店客数	102.2%	102.8%	111.6%	107.5%

※インドネシアは、現地の商慣習上、売上報告がない専門店が多く記載しておりません。

2018年度第1四半期において
中国10モール、アセアン7モールが黒字化を達成

	中国	アセアン
黒字化 達成	10モール 北京国際商城 (2008) 天津TEDA (2010) 天津中北 (2012) 蘇州呉中 (2014) 武漢金銀潭 (2014) 蘇州園区湖東 (2015) 杭州良渚新城 (2015) 武漢経開 (2015) 蘇州新区 (2015) 武漢金橋 (2017)	7モール タンフーセラドン (2014) ビンズオンキャナリー (2014) ロンビエン (2015) ビンタン (2016) BSD CITY (2015) JGC (2017) プノンペン (2014)
	赤字 天津梅江 (2014) 北京豊台 (2015) 広州番禺広場 (2015) 河北燕郊 (2016) 天津津南 (2017) 南通星湖 (2017) 佛山大瀝 (2017)	

※前年度までにオープンしたモールを対象。() はオープン年度。

2018年度第1四半期は、

- ・ 海外事業全体で **営業利益黒字化を達成**。エリア別でも **中国、アセアンともに黒字**。
- ・ 利益改善額は **+4億円 (中国+2億円、アセアン+2億円)**。
- ・ 減価償却費及び平均家賃未払計上が**41億円**あり、**営業キャッシュ・フローは39億円**とキャッシュを創出。

海外

	2017年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
営業収益	7,498	7,316	7,744	10,052	32,611
前期比	+1,087	+1,405	+1,407	+3,003	+6,904
営業総利益	618	624	565	1,071	2,879
前期比	+1,005	+822	+659	+875	+3,362
営業利益	▲ 161	▲ 366	▲ 418	62	▲ 884
前期比	+913	+670	+427	+904	+2,915
簡易営業CF	2,681	1,985	1,428	3,720	9,816

2018年度 1Q
10,686
+3,187
1,205
+586
265
+426
3,986

単位：百万円

中国

	2017年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
営業収益	5,534	5,354	5,692	7,315	23,896
前期比	+573	+995	+1,219	+2,189	+4,977
営業総利益	371	330	261	666	1,630
前期比	+818	+682	+476	+676	+2,654
営業利益	▲ 220	▲ 414	▲ 480	▲ 17	▲ 1,132
前期比	+750	+513	+298	+757	+2,318
簡易営業CF	2,106	800	1,380	2,943	7,231

2018年度 1Q
8,214
+2,680
725
+354
3
+223
2,919

アセアン

	2017年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
営業収益	1,964	1,961	2,052	2,737	8,715
前期比	+514	+410	+187	+814	+1,926
営業総利益	246	293	304	404	1,248
前期比	+186	+139	+182	+198	+707
営業利益	59	48	61	79	248
前期比	+163	+157	+129	+147	+597
簡易営業CF	574	1,184	47	777	2,584

2018年度 1Q
2,471
+507
479
+232
261
+202
1,067

【アジアにおける成長機会の獲得】

海外 2018年度新規モール (中国)

※オープン年度は日本の会計年度で記載。海外現地法人の決算期は12月末。

イオンモール煙台金沙灘 (山東省煙台市)



オープン日：2018年5月25日
敷地面積：93,000㎡ 総賃貸面積：72,000㎡
駐車台数：2,700台 専門店舗数：220店舗

最新のデジタル化の取り組み



700インチの大型シースルーLEDビジョン



薄型両面デジタルミニバナーを共用部に設置



車両番号での車検索システムを導入

【アジアにおける成長機会の獲得】

海外 2018年度既存モールリニューアル (中国)

イオンモール武漢金銀潭 2018年5月13日リニューアルオープン



オープン日：2014年12月19日
敷地面積：88,000㎡ 総賃貸面積：70,000㎡
駐車台数：2,900台 専門店舗数：200店舗

イオンモール蘇州園区湖東 2018年6月15日リニューアルオープン



オープン日：2015年5月27日
敷地面積：99,000㎡ 総賃貸面積：74,000㎡
駐車台数：3,000台 専門店舗数：200店舗

新規	移転	改装	合計
74店舗	2店舗	9店舗	85店舗

新規	移転	改装	合計
22店舗	7店舗	11店舗	40店舗

【アジアにおける成長機会の獲得】

海外 2018年度新規モール (アセアン)

※オープン年度は日本の会計年度で記載。海外現地法人の決算期は12月末。

イオンモール センソック シティ (プノンペン都)

カンボジア最大のアミューズメントコンプレックス



オープン日：2018年5月30日
敷地面積：100,000㎡
総賃貸面積：85,000㎡
駐車台数：2,300台
専門店数：200店舗



本格的なスライダーや流れるプールが楽しめるウォーターパーク



大型遊具が楽しめる室内遊園地



カンボジアの有力TV局の収録スタジオを導入

サービス機能の充実



運転免許センター等の行政サービス機能を導入



カンボジア大手行など5銀行のインストアブランチを集積

圧倒的なフードエンターテインメント



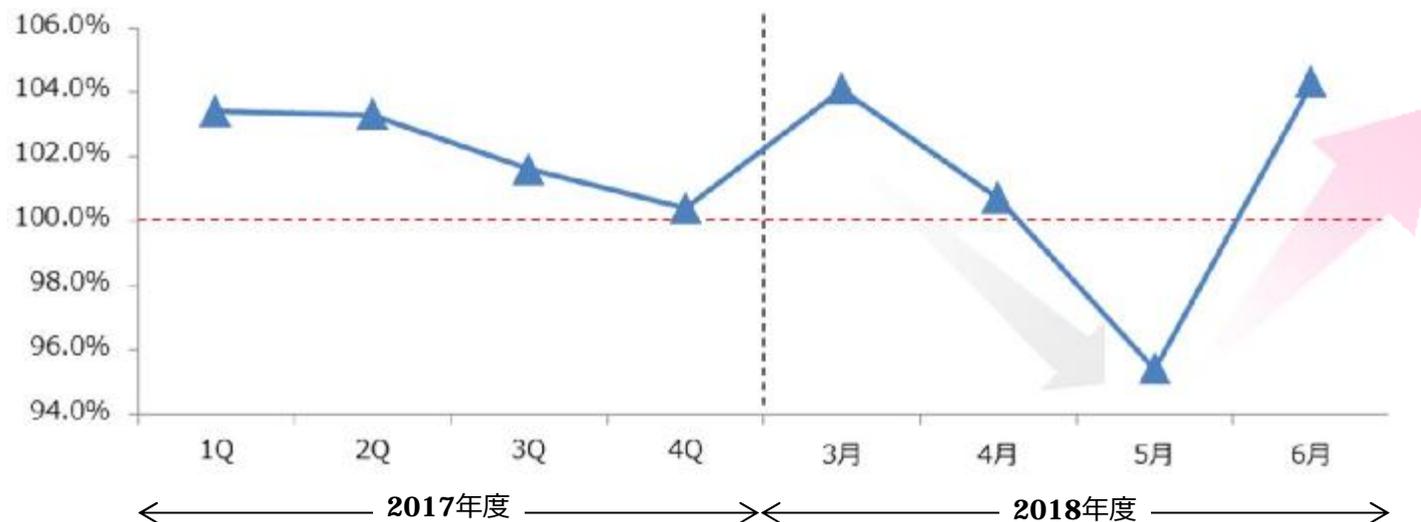
大空間を活かしたレストランゾーン



エンターテインメント型フードコート
※12月オープン予定

日本 既存73モール専門店売上前期比

5月度は天候不順、シネマ反動減（▲26.3%）の影響から前期割れであったが、足元は前期比+4%強とプラス基調で推移。



専門店売上	2017年度					2018年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	3月	4月	5月	1Q
曜日調整前	103.4%	103.3%	101.6%	100.4%	102.2%	104.1%	100.7%	95.4%	100.1%
土日祝数	▲1	±0	▲1	+1	▲1	+1	±0	▲1	±0
曜日調整後	104.3%	103.3%	102.5%	99.8%	102.4%	101.6%	100.7%	97.9%	100.1%
レジ客昨対 ※	104.0%	103.4%	99.6%	99.2%	101.6%	103.1%	100.6%	95.2%	99.7%
客単価昨対 ※	99.4%	99.9%	102.0%	101.2%	100.6%	101.0%	100.2%	100.2%	100.5%
駐車台数	102.6%	101.9%	100.6%	99.0%	101.0%	102.1%	99.3%	98.3%	99.9%
来店客数	101.9%	101.9%	99.1%	97.9%	100.2%	101.3%	99.1%	95.5%	98.7%

※GMS等、アンカーテナントの数値は含んでおりません。

日本 既存73モール専門店売上前期比 (業種別)

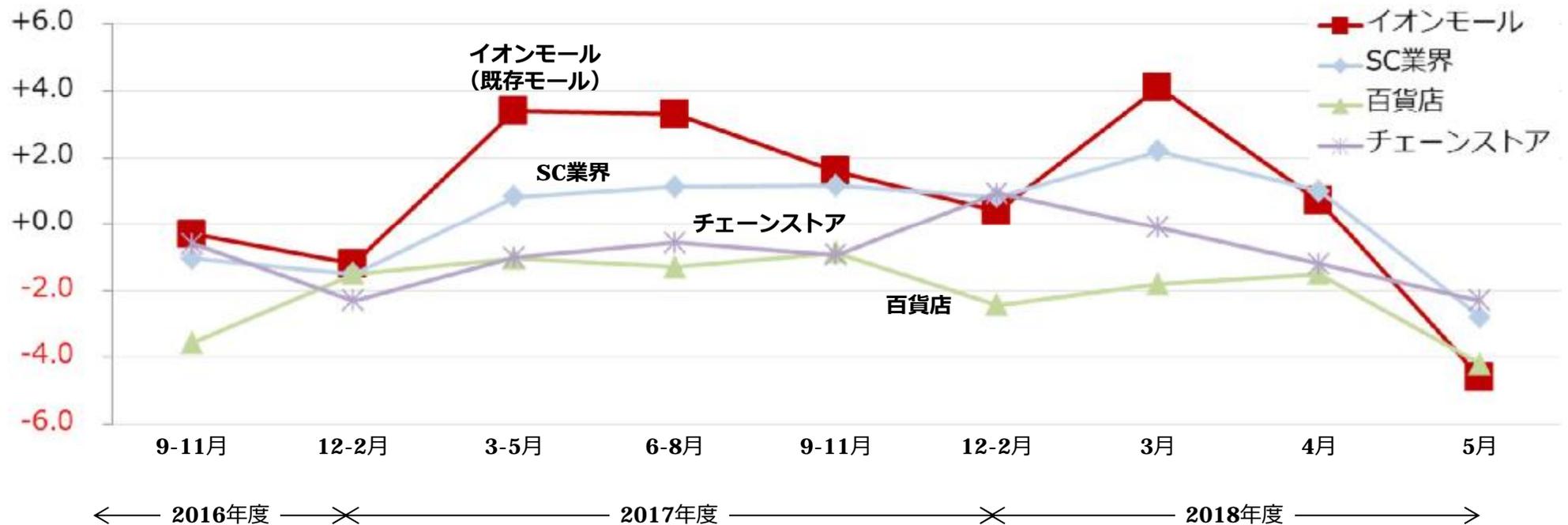
3月は気温上昇に伴い衣料品が好調に推移し、既存専門店売上は前期比+4.1%と大きく伸長。5月は天候不順による衣料品のトレンド悪化及びシネマ反動減の影響から前期比▲4.6%と苦戦するも、1Q (3ヶ月) では前期比+0.1%と前期並みトレンドを維持。

	2017年度					2018年度			
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	3月	4月	5月	1Q
専門店合計	103.4%	103.3%	101.6%	100.4%	102.2%	104.1%	100.7%	95.4%	100.1%
大型専門店小計	106.2%	106.8%	108.4%	103.3%	106.0%	101.7%	104.5%	100.4%	102.2%
衣料品	98.6%	98.8%	100.6%	97.9%	99.0%	105.3%	98.3%	90.6%	98.0%
服装品	99.5%	101.6%	97.6%	96.8%	98.8%	101.2%	97.2%	94.6%	97.8%
雑貨	105.9%	109.2%	107.1%	105.3%	106.8%	108.9%	106.4%	102.3%	106.0%
ホビー	104.7%	103.8%	103.3%	102.5%	103.6%	105.9%	101.7%	97.8%	101.7%
食品	113.3%	111.3%	106.7%	106.8%	109.4%	104.7%	102.1%	101.2%	102.8%
飲食	103.2%	102.9%	101.5%	101.4%	102.2%	104.7%	101.1%	96.5%	100.9%
アミューズメント	115.5%	106.4%	83.5%	90.9%	99.4%	95.6%	96.9%	84.3%	92.4%
(内、シネマ)	124.2%	102.9%	65.1%	77.8%	93.3%	88.7%	89.2%	73.7%	84.3%
サービス	106.6%	103.1%	103.3%	103.8%	104.2%	104.6%	101.9%	99.2%	101.9%
中小専門店小計	103.0%	102.8%	100.8%	100.0%	101.7%	104.5%	100.2%	94.8%	99.9%

2016年下期以降、SC業界だけでなく、他業態の前期比伸び率を上回って推移。

◆売上高前年対比 (イオンモール、SC業界、百貨店、チェーンストア)

※SC業界、百貨店、チェーンストアの2016年度と2017年度の3ヶ月平均値は、各月の単純平均で算出。
 ※イオンモールの前期比は曜日調整前。
 ※百貨店は、インバウンド影響を除く。



出典：(社)日本ショッピングセンター協会、日本百貨店協会、日本チェーンストア協会

地域創生型商業施設

THE OUTLETS

① 本格アウトレット

② エンターテインメント

③ 地域との出会い

THE OUTLETS HIROSHIMA

(広島県広島市)

オープン日：2018年4月27日

敷地面積：268,000㎡ 総賃貸面積：53,000㎡

駐車台数：4,000台 専門店数：200店舗



【新たな国内需要の発掘】

日本 ①ローカリゼーションの推進

本格アウトレット

エンターテインメント

地域との出会い



【新たな国内需要の発掘】

日本 ①ローカリゼーションの推進

本格アウトレット

エンターテインメント

地域との出会い

広島県唯一の通年型
アイススケートリンク



カーブ球団を
デザインモチーフにした
ボーリング場



スマートフォンと連動する
最新技術を使った参加型
プロジェクションマッピング



【新たな国内需要の発掘】

日本 ①ローカリゼーションの推進

本格アウトレット

エンターテインメント

地域との出会い



瀬戸内エリアの職人やクリエイターが手がけた雑貨ゾーン



瀬戸内・広島ならではの地元グルメが楽しめる飲食ゾーン



広島広域都市圏の情報発信拠点として特産品や観光情報を発信

【新たな国内需要の発掘】

日本 ②ハピネスモール

元気は、しあわせ。

ハピネスモール

AEON MALLは、
「お客さまの素敵な思い出づくり」体験の場へ。

AEON MALLへ行く時は“わくわく”
AEON MALLから帰る時は“笑顔”

<取り組みの4つの柱>

HEALTH
「健康」

カラダもココロも元気に

WELLNESS
「感動・充足」

気軽に芸術やカルチャーを体験

COMMUNITY
「地域」

地域の人々の社会関係性を作る活動

OPPORTUNITY
「商品・サービス体験」

新たな価値観や生活と出会う機会づくり

モールウォーキング (イオンモール宮崎)

オペラ de イオンモール ~オペラ「カルメン」ハイライト版開催~

千葉大学予防医学センター監修による
「健康への気づきを促す空間デザイン」
によるウォーキングコースを設置。



①ステップウォーキング
歩幅をチェックするプログラム

②クライムウォーキング
記憶や想像力に働きかけるプログラム



③バランスウォーキング
歩く速度や姿勢をチェックする
プログラム



日程：4月28日
会場：イオンモール幕張新都心 (カンドゥー)

公益財団法人日本オペラ振興会との
タイアップによる開催。スクリーンを
活用した迫力ある映像やナレーション等、
新たなオペラ鑑賞体験を提供。



【新たな国内需要の発掘】

日本 ③海外専門店の日本への誘致

阿香米線 (アーシャンライスヌードル)

出店モール : イオンレイクタウンmorri
 オープン日 : 2018年4月26日
 当社出店実績 : 中国に17店舗

2000年に中国で創業された米線 (ライスヌードル) 専門店。
 中国国内に500以上の直営店舗を展開。



MJstyle

出店モール : イオンモール幕張新都心
 オープン日 : 2018年6月28日
 当社出店実績 : 中国に7店舗

2001年創業、中国全土で約300店舗を展開する上海発のファスト
 ファッションブランド。海外初出店 (日本1号店) として出店。



KOI Thé

出店モール : THE OUTLETS HIROSHIMA
 オープン日 : 2018年4月27日
 当社出店実績 : ベトナム、カンボジア、インドネシアに3店舗

台湾に543店舗を展開する老舗茶屋が展開する世界ブランド。
 アジア12カ国に258店舗を展開。



海底撈火鍋 (カイトイロウヒナベ)

出店モール : イオンモール幕張新都心
 オープン日 : 2018年夏

1994年中国で創業。中国をはじめ、米国、シンガポール、韓国など全
 世界で約200店舗を展開する四川火鍋専門店。2015年に日本へ上陸し、
 東京で2店舗出店。今回、商業施設へ初出店。



前期及び当期にリニューアルを実施した既存18モールの専門店売上は **前期比+8.0%**

モール名称	所在地	リニューアル日	専門店数	リニューアル専門店数
イオンモール宮崎	宮崎県宮崎市	3月16日	250	155
イオンモール橿原	奈良県橿原市	3月17日	230	22
イオンモール堺北花田	大阪府堺市	3月20日	170	27
イオンモール伊丹	兵庫県伊丹市	4月27日	150	33

※イオンモール宮崎は増床リニューアル。

イオンモール堺北花田

2018年3月20日 リニューアルオープン

オープン日：2004年10月

敷地面積： 58,000㎡ 総賃貸面積： 72,000㎡

駐車台数： 2,800台 専門店数： 170店舗

	新規	移転・改装	合計
第1期	23	31	54
第2期	7	8	15
第3期	20	7	27



1F

世界最大規模の無印良品
「食」の専門売り場を展開

2F

ユニクロ・GUの2大カジュアルブランドが
大阪最大級の規模で出店

3F

家電・スポーツ・カフェ・ドラッグ等の
集積によりヘルス&ウェルネスを提案



無印良品



ユニクロ&GU

イオンモール宮崎 2018年3月16日 増床棟オープン



オープン：2005年5月
敷地面積：200,000㎡
駐車台数：4,300台 (+300台)

総賃貸面積：84,000㎡ (+14,000㎡)
専門店舗数：250店舗 (+70店舗)

< 増床棟の新設 >



< 中庭の新設 >



イオンモール座間 (神奈川県座間市)



オープン日：2018年3月16日

敷地面積：58,000㎡

総賃貸面積：50,000㎡

駐車台数：2,500台

専門店数：160店舗

市内最大級の一大グルメゾーン

1Fフードホール



2Fレストラン



3Fフードコート



ZAMAIRO PROJECT

親子で参加できるワークショップや新しい趣味が見つかる「みんなの部活動」、地域とコラボした季節感あるイベントを実施。プロジェクトの情報をオリジナル情報番組「ZAMAIRO CHANNEL」にて発信。



【圧倒的な地域No.1モールへの進化】

日本 モール事業 2018年度新規モール

イオンモールいわき小名浜 (福島県いわき市)



オープン日：2018年6月15日

敷地面積： 44,000㎡

総賃貸面積： 50,000㎡

駐車台数： 1,300台 (敷地内)

専門店数： 130店舗

防災モールとしての取り組み

北側
市街地方面からの
避難市民受入れ



東日本大震災の経験を活かし、地震や津波などによる災害が発生した場合には時間を問わず、ペDESTリアンデッキ (避難デッキ) と接続した店内通路や屋上などを開放し、一時的に避難者を受け入れることができます。

南側
海岸方面からの
避難市民受入れ



避難された方が利用できるように、災害時用簡易トイレを設置。



防災電源や給水電源を設置し、停電や断水時に備えます。



「イオンスタイルいわき小名浜」食品売り場への電源供給を確保し、有事の際は地域の災害支援施設となります。



耐震性を有した受水槽(合計約220㎡)は、停電・断水状態であっても、受水槽内の飲料水を利用できるように、緊急用給水取り出し口を設置しています。



津波対策として、特高受電設備及び受水槽を、最大想定津波高以上である2Fフロアより高い場所に設置しています。



イオンホールは、非常用電源で、照明・空調・給水・携帯充電用コンセントが利用できるように、避難された方が待機できるスペースとして活用できます。

立地特性に応じたリニューアルを段階的に実施し、集客力アップを図る

キャナルシティオーパ



心斎橋オーパ



個人向け社債の発行により、安定的かつ多様な調達手段を確保

愛称：ハピネスモール債

【特徴】

- 販売活動に供するポスターやリーフレットを通じ、現在推し進めている「ハピネスモール」のPR効果。
- モール来店動機獲得を目的に、特典・懸賞としてシネマチケットの配布、及びハピネスモールイベントへの招待を実施。



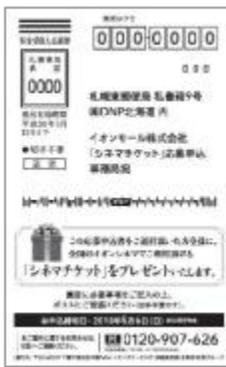
【社債発行概要】

社債の名称	イオンモール株式会社第14回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)
社債の総額	300億円
各社債の金額	100万円
利率 (%)	0.39%
発行価格	各社債の金額100円につき金100円
発行日	2018年3月7日
償還の方法 及び償還期限	2023年3月7日に一括償還
担保の内容	本社債には担保及び保証は付されておらず、また本社債のために特に留保されている資産はありません。
資金の使途	コマーシャル・ペーパー償還資金、借入金返済資金の一部に充当する方針であります。

購入者特典概要

① イオンシネマチケット進呈

- 100万円購入者様：2枚
- 200万円以上購入者様：4枚



② ハピネスモールイベントご招待

- オペラ de イオンモール
「カルメン」ハイライト
- ドリームコラボレーションコンサート

※2018年9月～12月にかけて、全国のイオンモールで約20公演を予定。



「イオンゆめみらい保育園」の設置拡大

2018年度に入り、新たに4モールに「イオンゆめみらい保育園」を設置。全国24ヶ所(※)まで拡大。

新たに設置したモール (企業主導型保育事業)

- ・イオンモール座間
- ・イオンモールいわき小名浜
- ・THE OUTLETS HIROSHIMA
- ・イオンモール広島祇園

※イオングループに設置している「イオンゆめみらい保育園」6施設のほか、従業員の保育利用について一般の保育事業者と当社が提携した2施設を含む。



イオンゆめみらい保育園 座間



イオンゆめみらい保育園 西風新都



イオンゆめみらい保育園 いわき小名浜

イオンモールいわき小名浜グランドオープンにあたり、地域貢献に向けた取り組みを実施

①5月20日 福祉車両を贈呈

イオングループ各社が加盟・運営するイオン社会福祉基金より、社会福祉法人育成会「いわき希望の園 こすも」さまへ福祉車両を贈呈。



②6月5日 総合防災訓練を実施

イオンでは、日頃から大規模地震に対応し、年2回人命の安全確保と地域インフラとしての事業の早急な復旧、復興ができる事業体制維持を目的とした総合防災訓練をグループ各社と外部パートナー様と一体で実施。今回、当モールのグランドオープンを万全の体制で迎えるために実施。

<内容>

- ・消防署による放水訓練
- ・津波避難訓練
- ・外部連携訓練(復旧支援想定訓練)



損益計算書 (要約)

(単位:百万円)

連結 (百万円)	2019年2月期 第1四半期	比率	2018年2月期 第1四半期	比率	増減率	前年増減額	前期比増減要因
営業収益	76,759	100.0%	71,095	100.0%	108.0%	5,663	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 新規8モール +2,717百万円 ・日本 既存73モール +71百万円 ・日本 都市型ショッピングセンター(OPA) ▲33百万円 ・日本 その他 ▲279百万円 ・海外 +3,187百万円
営業原価	57,422	74.8%	52,448	73.8%	109.5%	4,974	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 新規8モール +2,981百万円 ・日本 既存73モール ▲582百万円 ・日本 都市型ショッピングセンター(OPA) +37百万円 ・日本 その他 ▲61百万円 ・海外 +2,601百万円
営業総利益	19,336	25.2%	18,647	26.2%	103.7%	689	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 新規8モール ▲264百万円 ・日本 既存73モール +654百万円 ・日本 都市型ショッピングセンター(OPA) ▲71百万円 ・日本 その他 ▲217百万円 ・海外 +586百万円
販売費及び一般管理費	6,682	8.7%	6,542	9.2%	102.1%	139	<ul style="list-style-type: none"> ・日本 モール(OPA除く) ▲12百万円 ・日本 都市型ショッピングセンター(OPA) ▲8百万円 ・海外 +160百万円
営業利益	12,654	16.5%	12,104	17.0%	104.5%	549	
営業外収益	818	1.0%	908	1.3%	90.1%	▲89	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金収入 ▲102百万円 ・テナント受取退店違約金 ▲75百万円 ・受取利息 ▲24百万円 ・デリバティブ評価益 +123百万円
営業外費用	1,239	1.6%	1,008	1.4%	122.9%	230	<ul style="list-style-type: none"> ・社債発行費用 +217百万円 ・支払利息 +94百万円 ・為替差損 +56百万円 ・為替ヘッジに伴うデリバティブ評価損 ▲78百万円
経常利益	12,233	15.9%	12,004	16.9%	101.9%	228	※為替関連収支 +144百万円
特別利益	0	0.0%	-	0.0%	-	0	
特別損失	320	0.4%	1,288	1.8%	24.9%	▲967	・リース契約解約損 (前期計上948百万円) ▲948百万円
税金等調整前四半期純利益	11,913	15.5%	10,716	15.1%	111.2%	1,197	
法人税等	4,090	5.3%	3,767	5.3%	108.6%	323	
四半期純利益	7,822	10.2%	6,949	9.8%	112.6%	873	
非支配株主に帰属する四半期純利益または四半期純損失	▲74	▲0.1%	0	0.0%	-	▲75	
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,897	10.3%	6,948	9.8%	113.7%	948	

※日本 新規8モール(2017年オープン5モール、2018年オープン2モール、イオンレイクタウンアウトレットを2018年2月28日付で取得)

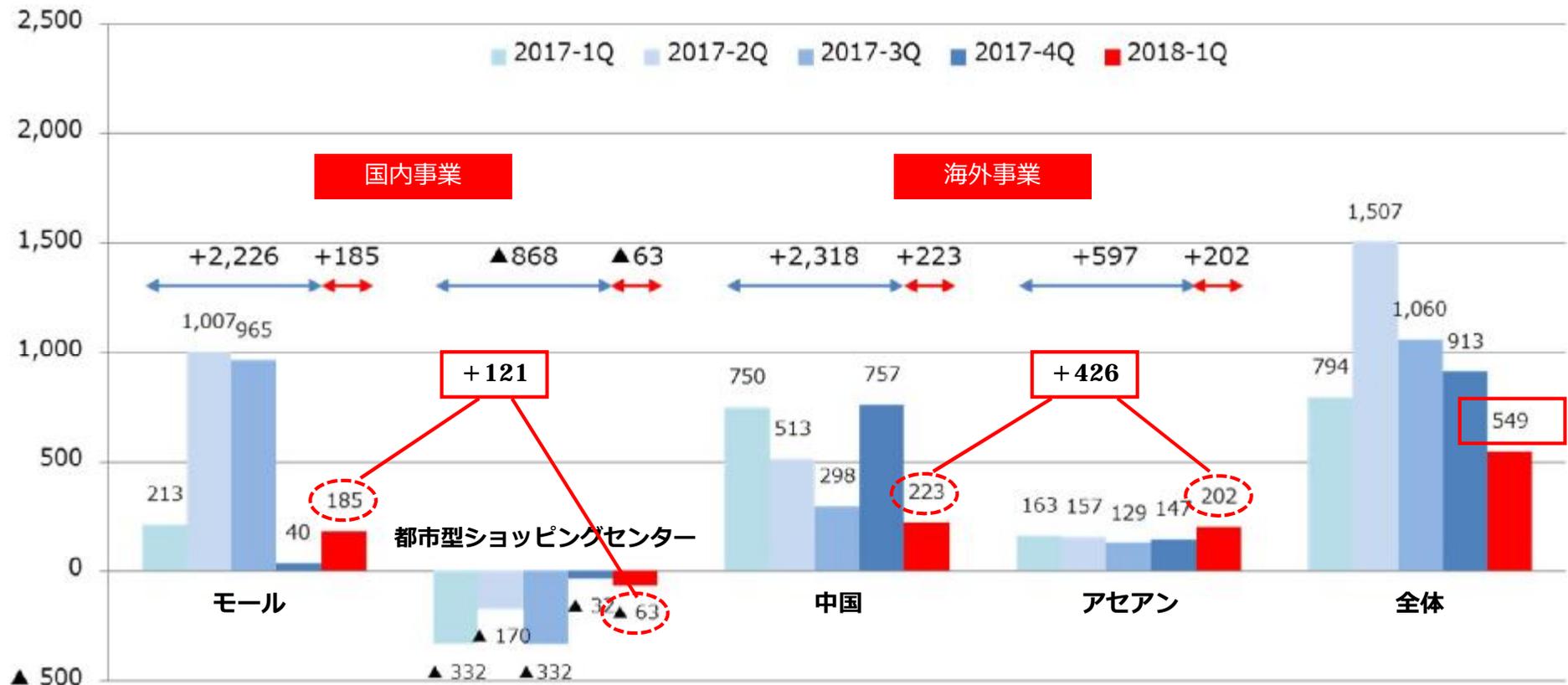
セグメント別 営業利益改善額

海外事業が利益成長を牽引 (営業利益増益のうち約80%)

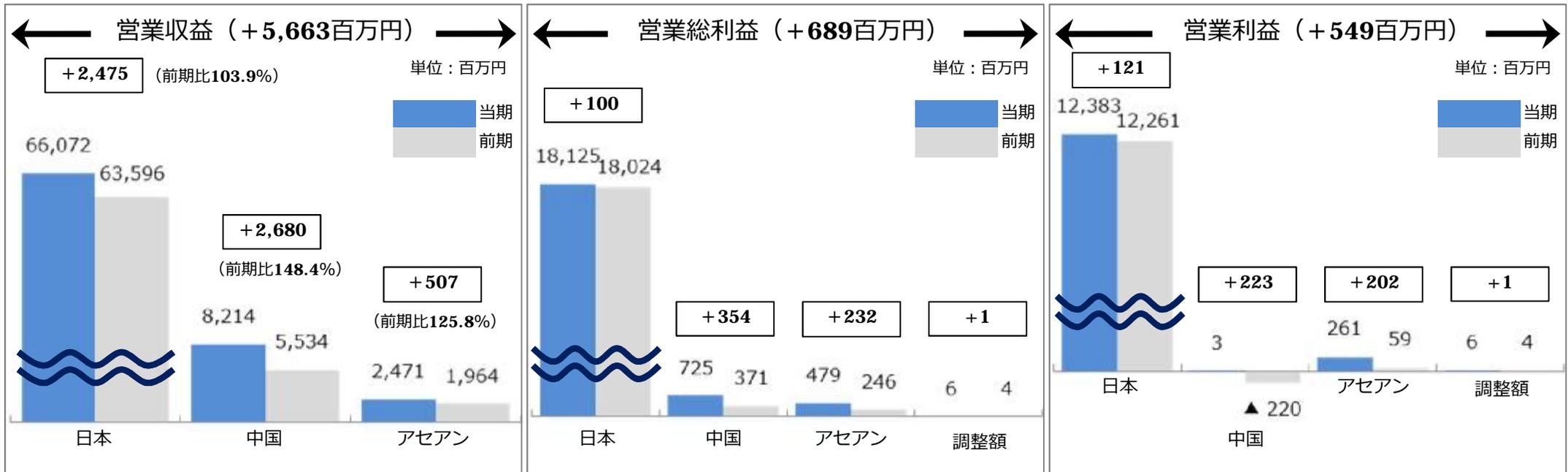
中国は既存モールの利益が順調に積みあがり、前期末に集中してオープンした新規モールのマイナスをカバーし増益。

◆セグメント別 営業利益増減額 四半期推移

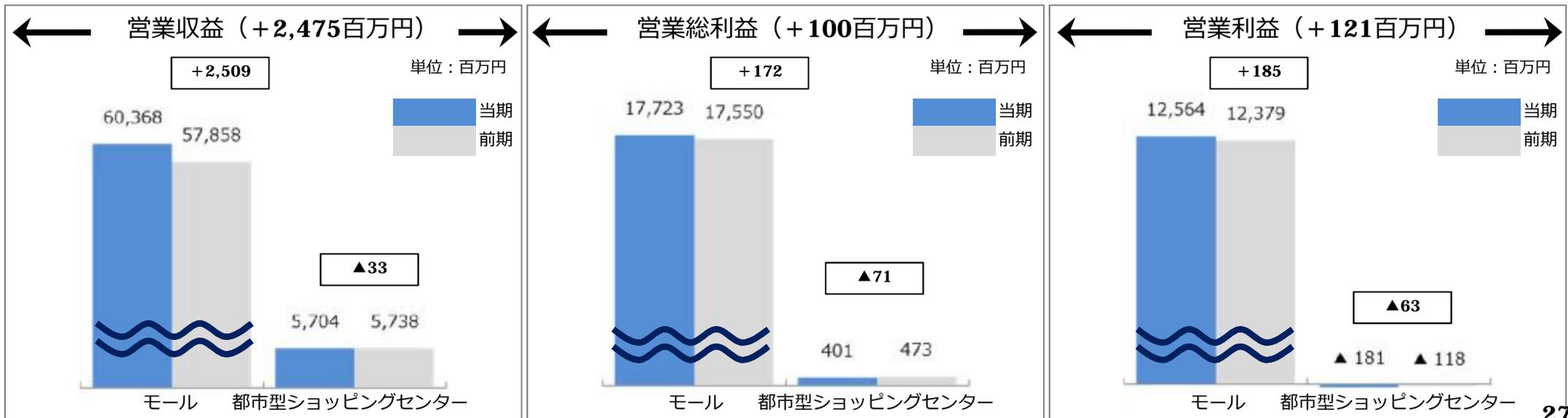
単位：百万円



損益増減明細



◆日本のセグメント別内訳



貸借対照表 (要約)

(単位:百万円)

連結 (百万円)	2019年2月期 第1四半期	2018年2月期	前期末比 増減額	主な増減要因
現金及び預金	63,238	54,586	8,652	
関係会社預け金	400	630	▲ 230	・イオングループ余資運用
その他	49,483	46,374	3,108	
流動資産	113,121	101,590	11,531	
有形固定資産	904,118	874,267	29,850	・有形固定資産の取得 +48,043百万円 ・減価償却費 ▲10,033百万円
無形固定資産	3,723	3,812	▲ 88	
投資その他の資産	149,267	144,110	5,156	・差入保証金 +2,063百万円
固定資産	1,057,109	1,022,190	34,919	
資 産	1,170,231	1,123,781	46,450	
未払法人税	4,202	8,677	▲ 4,474	
専門店預り金	50,805	38,614	12,190	
設備未払金	85,834	86,369	▲ 534	
その他	76,611	87,000	▲ 10,388	・コマーシャル・ペーパー ▲11,000百万円 ・短期借入金 +1,000百万円 ・1年内返済予定の長期借入金 +1,347百万円
流動負債	217,454	220,661	▲ 3,207	
固定負債	573,239	517,558	55,681	・社債 +30,000百万円 ・長期借入金 +18,721百万円 ・預り保証金 +731百万円
負 債	790,693	738,218	52,473	
純 資 産	379,537	385,561	▲ 6,023	
自己資本比率	31.5%	33.2%	▲1.7%	

自己資本	368,286	373,572	▲ 5,214
有利子負債	445,819	405,749	40,069
有利子負債比率	38.1%	36.1%	2.0%
デット・エクイティ・レシオ(倍)	1.2	1.1	0.1
ネット・デット・エクイティ・レシオ(倍)	1.0	0.9	0.1

【有利子負債増減】

(単位:百万円)

	2019年2月期 第1四半期	2018年2月期	前期末比 増減額
コマーシャル・ペーパー	-	11,000	▲ 11,000
短期借入金	1,000	-	1,000
1年内返済予定の長期借入金	31,094	29,746	1,347
社 債	200,000	170,000	30,000
長期借入金	213,724	195,002	18,721
合 計	445,819	405,749	40,069

キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位:百万円)

連結 (百万円)	2019年2月期 第1四半期	2018年2月期 第1四半期	前年増減額	主な項目
営業活動による キャッシュ・フロー	25,152	20,633	4,519	<ul style="list-style-type: none"> 税金等調整前四半期純利益 11,913百万円 減価償却費 10,325百万円 専門店売上預り金 12,311百万円 法人税等の支払額 ▲8,072百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	▲ 51,038	▲ 28,042	▲ 22,996	<ul style="list-style-type: none"> 有形固定資産の取得 ▲52,244百万円 長期前払費用の取得 ▲999百万円 (海外土地使用权等) 預り保証金の増加(NET) 2,917百万円 <p>※設備投資 53,244百万円</p>
財務活動による キャッシュ・フロー	35,233	▲ 2,784	38,018	<ul style="list-style-type: none"> 短期借入金の純増 ▲10,000百万円 長期借入金による収入 24,441百万円 長期借入金の返済による支出 ▲4,663百万円 社債発行による収入 30,000百万円 配当金の支払額 ▲4,321百万円
現金及び現金同等物 期末残高	62,097	58,221	3,875	

連結業績計画（2018年度）

業績予想

	金額	前期比
営業収益	3,200 億円	+11.1 %
営業利益	535 億円	+8.7 %
経常利益	510 億円	+4.0 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	320 億円	+4.8 %

設備投資額	1,900 億円
減価償却費 ※	500 億円

※長期前払費用の償却を含む。同条件の2017年度実績は434億円。

株主還元

- ・海外事業がキャッシュ・フローを創出できるステージに入ったことから、**連結配当性向を20%以上から25%以上に拡大。**
- ・**2018年度は1株当たり年間3円増配の38.0円、連結配当性向27.0%**を計画。
株主還元を強化。

年度	1株当たり配当金			配当性向
	中間	期末	年間	
2016 (実績)	13.5 円	13.5 円	27.0 円	21.5 %
2017 (実績)	16.0 円	19.0 円	35.0 円	26.1 %
2018 (計画)	19.0 円	19.0 円	38.0 円	27.0 %



添付資料 (モールデータ)

ショッピングモール (国内)

	モール名称	オープン日	総賃貸面積 (㎡)	駐車場台数	専門店数	土地/建物所 有	土地賃借/建 物所有	土地/建物賃 借	PM受託
1	イオンモール川口	1984年 4月	34,000	1,300	90			◎	
2	イオンモールつがる柏	1992年11月	40,000	2,600	90	◎			
3	イオンモール秋田	1993年 9月	58,000	3,200	150	◎			
4	イオンモール富津	1993年 9月	28,000	1,400	90			☆	
5	イオンモール下田	1995年 4月	59,000	4,000	120	◎			
6	ショッピングモールフェスタ	1996年 4月	32,000	3,800	90	◎			
7	イオンモール鈴鹿	1996年11月	70,000	4,200	180			☆	
8	イオンモール三光	1996年12月	40,000	2,500	70	◎			
9	イオンモール宇城	1997年11月	63,000	3,300	100			☆	
10	イオンモール倉敷	1999年 9月	83,000	4,700	240			☆	
11	イオンモール成田	2000年 3月	65,000	4,000	170			☆	
12	イオンモール岡崎	2000年 9月	80,000	4,300	170		◎		
13	イオンモール川口前川	2000年11月	66,000	2,400	170			◎	
14	イオンモール高知	2000年12月	57,000	3,100	140			◎	
15	イオンモール新居浜	2001年 6月	66,000	3,500	120		◎		
16	イオンモール東浦	2001年 7月	55,000	5,000	110			☆	
17	イオンモール大和	2001年12月	35,000	1,900	90			☆	
18	イオンモール高岡	2002年 9月	62,000	3,600	130		◎		
19	イオンモール伊丹	2002年10月	57,000	2,800	150			☆	
20	イオンモール盛岡	2003年 8月	52,000	2,600	130			☆	
21	イオンモール太田	2003年12月	62,000	4,200	150			☆	
22	イオンモール京都五条	2004年 3月	36,000	1,700	140			☆	
23	イオンモール広島府中	2004年 3月	98,000	5,000	280	◎			
24	イオンモール橿原	2004年 4月	80,000	5,000	230		◎		
25	イオンモール木曽川	2004年 6月	66,000	4,400	170			◎	
26	イオンモール福岡	2004年 6月	90,000	5,200	200			☆	
27	イオンモール浜松志都呂	2004年 8月	65,000	3,500	160			☆	
28	イオンモール堺北花田	2004年10月	72,000	2,800	170			☆	
29	イオンモールりんくう泉南	2004年11月	76,000	4,700	170		◎		
30	イオンモール直方	2005年 4月	58,000	3,400	140			☆	
31	イオンモール宮崎	2005年 5月	84,000	4,300	250		◎		
32	イオンモール熊本	2005年10月	73,000	4,500	160			☆	
33	イオンモール水戸内原	2005年11月	78,000	4,500	200			☆	
34	イオンモール千葉ニュータウン	2006年 4月	79,000	4,000	180			☆	
35	イオンモール高崎	2006年10月	59,000	3,700	170			☆	

☆流動化案件

ショッピングモール (国内)

	モール名称	オープン日	総賃貸面積 (㎡)	駐車場台数	専門店数	土地/建物所 有	土地賃借/建 物所有	土地/建物賃 借	PM受託
36	イオンモールむさし村山	2006年11月	78,000	4,000	180			☆	
37	イオンモール鶴見緑地	2006年11月	53,000	2,200	160			☆	
38	イオンモール神戸北	2006年11月	55,000	4,000	160			☆	
39	イオンモール名取	2007年 2月	67,000	3,900	170		◎		
40	イオンモール羽生	2007年11月	75,000	5,000	210	◎			
41	イオンモール日の出	2007年11月	64,000	3,600	160		◎		
42	イオンレイクタウンKaze	2008年10月	61,000	2,300	230			◎	
43	イオンモール草津	2008年11月	78,000	4,500	190		◎		
44	イオンモール筑紫野	2008年12月	80,000	3,800	210		◎		
45	イオンモール都城駅前	2008年12月	28,000	1,700	100			☆	
46	mozo wondercity	2009年 4月	101,000	5,000	230				◎
47	イオンモール広島祇園	2009年 4月	50,000	2,800	130		◎		
48	イオンモール新瑞橋	2010年 3月	38,000	1,700	120			☆	
49	イオンモール大和郡山	2010年 3月	67,000	4,100	170			☆	
50	イオンモールKYOTO	2010年 6月	51,000	1,100	130			☆	
51	イオンモール甲府昭和	2011年 3月	70,000	3,500	180			☆	
52	イオンモール大牟田	2011年 3月	57,000	4,800	130	◎			
53	イオンレイクタウンアウトレット	2011年 4月	23,000	1,100	130		◎		
54	広島段原ショッピングセンター	2011年 9月	24,000	800	60			◎	
55	イオンモール福津	2012年 4月	61,000	3,500	190			☆	
56	イオンモールつくば	2013年 3月	64,000	4,000	200			☆	
57	イオンモール春日部	2013年 3月	56,000	2,900	180			☆	
58	神戸ハーバーランド umie (ウミエ)	2013年 4月	85,000	3,000	230				◎
59	イオンモール東員	2013年11月	58,000	3,500	155		◎		
60	イオンモール幕張新都心	2013年12月	128,000	7,300	360		◎		
61	イオンモール天童	2014年 3月	47,000	3,000	130		◎		
62	イオンモール和歌山	2014年 3月	69,000	3,500	210			☆	
63	イオンモール名古屋茶屋	2014年 6月	75,000	4,100	200		◎		
64	イオンモール京都桂川	2014年10月	77,000	3,100	220			☆	
65	イオンモール木更津	2014年10月	84,000	4,000	160		◎		
66	イオンモール多摩平の森	2014年11月	24,000	1,000	130			☆	
67	イオンモール岡山	2014年12月	92,000	2,500	350			☆	
68	イオンモール旭川駅前	2015年 3月	29,000	900	130			◎	
69	イオンモール沖縄ライカム	2015年 4月	78,000	4,000	230		◎		
70	イオンモール四條畷	2015年10月	75,000	4,100	200		◎		

☆流動化案件

ショッピングモール（国内）

	モール名称	オープン日	総賃貸面積 (㎡)	駐車場台数	専門店数	土地／建物所 有	土地賃借／建 物所有	土地／建物賃 借	PM受託
71	イオンモール常滑	2015年12月	86,700	4,000	180		◎		
72	イオンモール堺鉄砲町	2016年3月	56,000	2,600	160		◎		
73	イオンモール今治新都市	2016年4月	54,000	2,900	120	◎			
74	イオンモール長久手	2016年12月	59,000	2,600	200		◎		
75	カテプリ	2016年12月	13,200	1,750	60			◎	
76	イオンモール新小松	2017年3月	63,000	3,400	170			☆	
77	イオンSENRITO専門館	2017年4月	9,100	400	35			◎	
78	イオンモール徳島	2017年4月	50,000	3,100	160		◎		
79	イオンモール神戸南	2017年9月	39,000	1,400	130		◎		
80	イオンモール松本	2017年9月	49,000	2,300	170	◎			
81	イオンモール座間	2018年3月	50,000	2,500	160		◎		
82	THE OUTLETS HIROSHIMA	2018年4月	53,000	4,000	200	◎			
国内計			4,982,000	270,350	13,440	11	25	44	2

※上記以外にイオンリテール（株）の商業施設70施設（GLA 2,797,000㎡、専門店数8,070）の管理・運営を受託しております。

☆流動化案件

ショッピングモール（海外）

	モール名称	オープン日	総賃貸面積 (㎡)	駐車場台数	専門店数	土地／建物所 有	土地賃借／建 物所有	土地／建物賃 借	PM受託
83	イオンモール北京国際商業城(中国)	2008年11月	53,000	3,000	120			◎	
84	イオンモール天津TEDA(中国)	2010年10月	55,000	2,500	130			◎	
85	イオンモール天津中北(中国)	2012年4月	62,000	3,700	150			◎	
86	イオンモール天津梅江(中国)	2014年1月	63,000	2,400	170			◎	
87	イオンモール蘇州吳中(中国)	2014年4月	75,000	3,100	190			◎	
88	イオンモール武漢金銀潭(中国)	2014年12月	70,000	2,900	200			◎	
89	イオンモール蘇州園区湖東(中国)	2015年5月	74,000	3,000	200	◎			
90	イオンモール北京豊台(中国)	2015年9月	58,000	2,000	180			◎	
91	イオンモール杭州良渚新城(中国)	2015年11月	66,000	2,500	180	◎			
92	イオンモール武漢経開(中国)	2015年12月	105,000	4,000	300	◎			
93	イオンモール広州番禺広場(中国)	2015年12月	65,000	1,700	170			◎	
94	イオンモール蘇州新区(中国)	2016年1月	74,000	3,200	280			◎	
95	イオンモール河北燕郊(中国)	2016年11月	70,000	3,000	200			◎	
96	イオンモール天津津南(中国)	2017年10月	70,000	2,600	210			◎	
97	イオンモール南通星湖(中国)	2017年12月	77,000	3,000	280			◎	
98	イオンモール武漢金橋(中国)	2017年12月	54,700	1,700	190			◎	
99	イオンモール佛山大瀝(中国)	2017年12月	69,000	2,600	240			◎	
100	イオンモール煙台金沙灘(中国)	2018年5月	72,000	2,700	220	◎			
101	イオンモール タンフーセラドン(ベトナム)	2014年1月	47,000	500	120				◎
102	イオンモール ビンズオンキャナリー(ベトナム)	2014年11月	49,000	1,000	150			◎	
103	イオンモール ロンピエン(ベトナム)	2015年10月	72,000	1,000	180	◎			
104	イオンモール ビンタン(ベトナム)	2016年7月	60,000	1,500	160			◎	
105	イオンモール プノンベン(カンボジア)	2014年6月	66,000	2,200	190	◎			
106	イオンモール センソックシティ(カンボジア)	2018年5月	85,000	2,300	200	◎			
107	イオンモールBSD CITY(インドネシア)	2015年5月	77,000	2,100	280	◎			
108	イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ(インドネシア)	2017年9月	63,000	3,000	220	◎			
海外計			1,751,700	63,200	5,110	9	0	16	1
合計			6,733,700	333,550	18,550	20	25	60	3

※2018年5月31日現在

	モール名称	オープン日	総賃貸面積 (㎡)	専門店数
1	三宮ビブレ	1969年11月	5,700	34
2	天神ビブレ	1976年11月	9,800	74
3	横浜ビブレ	1978年10月	17,800	137
4	仙台フォーラス	1984年11月	14,600	105
5	心斎橋オーパ	1994年11月	10,500	135
	オーパきれい館	1998年 8月	2,300	心斎橋オーパに含む
6	北大路ビブレ	1995年 3月	22,200	92
7	藤沢オーパ	1996年 3月	9,000	65
8	キャナルシティオーパ	1996年 4月	13,300	124
9	明石ビブレ	1997年10月	16,400	70
10	新百合丘オーパ	1997年11月	12,100	98
11	河原町オーパ	1998年11月	9,800	101
12	聖蹟桜ヶ丘オーパ	1999年 9月	16,100	57
13	ワールドポーターズビブレ	1999年 9月	18,100	93
14	金沢フォーラス	2006年11月	26,100	197
15	ビブレジーンレイクタウン	2008年 9月	2,900	22
16	名古屋ワンダーシティビブレ	2009年 4月	2,700	10
17	梅田オーパ	2013年 4月	2,200	19
18	三宮オーパ2	2017年 2月	11,700	50
19	水戸オーパ	2017年 3月	12,500	61
20	秋田オーパ	2017年10月	11,500	60
21	高崎オーパ	2017年10月	26,000	160
都市型ショッピングセンター 計			273,300	1,764

※秋田オーパは、2017年10月にリファイニング建築を採用し、耐震補強及び内外装・設備を一新。

※2018年5月31日現在

2025年にめざす姿

2025年にめざす姿

- ①国内モール単一での利益創出ではなく、複数の事業からなるポートフォリオの構築をめざす。
- ②イオンモール連結営業利益**1,000億円超**、グローバル商業ディベロップメントトップクラスの水準をめざす。
- ③国内モールは増床・リニューアルを積極的に行い、各エリアで圧倒的な地域**No.1**モールへの進化を図る。
- ④海外事業は営業利益**350億円**(利益率**20%**)、**70**モール体制と現状の国内事業と同等の効率と規模をめざす。

<定量目標>

営業収益 **5,000** 億円

営業利益 **1,000** 億円



中期3カ年経営計画(2017~2019年度)

<定量目標>

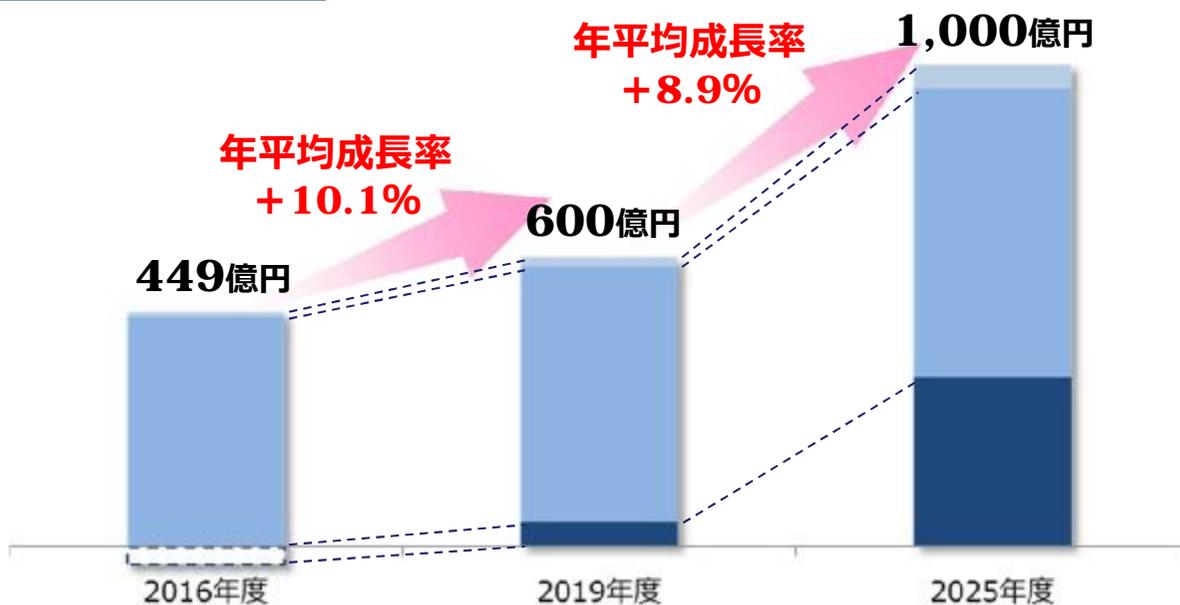
営業収益 **3,400** 億円

営業利益 **600** 億円

【重点施策】

- ①アジアにおける成長機会の獲得
- ②新たな国内需要の発掘
- ③圧倒的な地域**No.1**モールへの進化
- ④都市部における成長機会の獲得
- ⑤成長を支えるファイナンスミックスと組織体制構築

◆営業利益構成比



		[実績]	[計画]	[計画]
営業利益構成比		2016年度	2019年度	2025年度
	都市型SC事業	2.7%	3.3%	5.0%
	国内モール事業	105.8%	88.4%	60.0%
	海外事業	▲8.5%	8.3%	35.0%

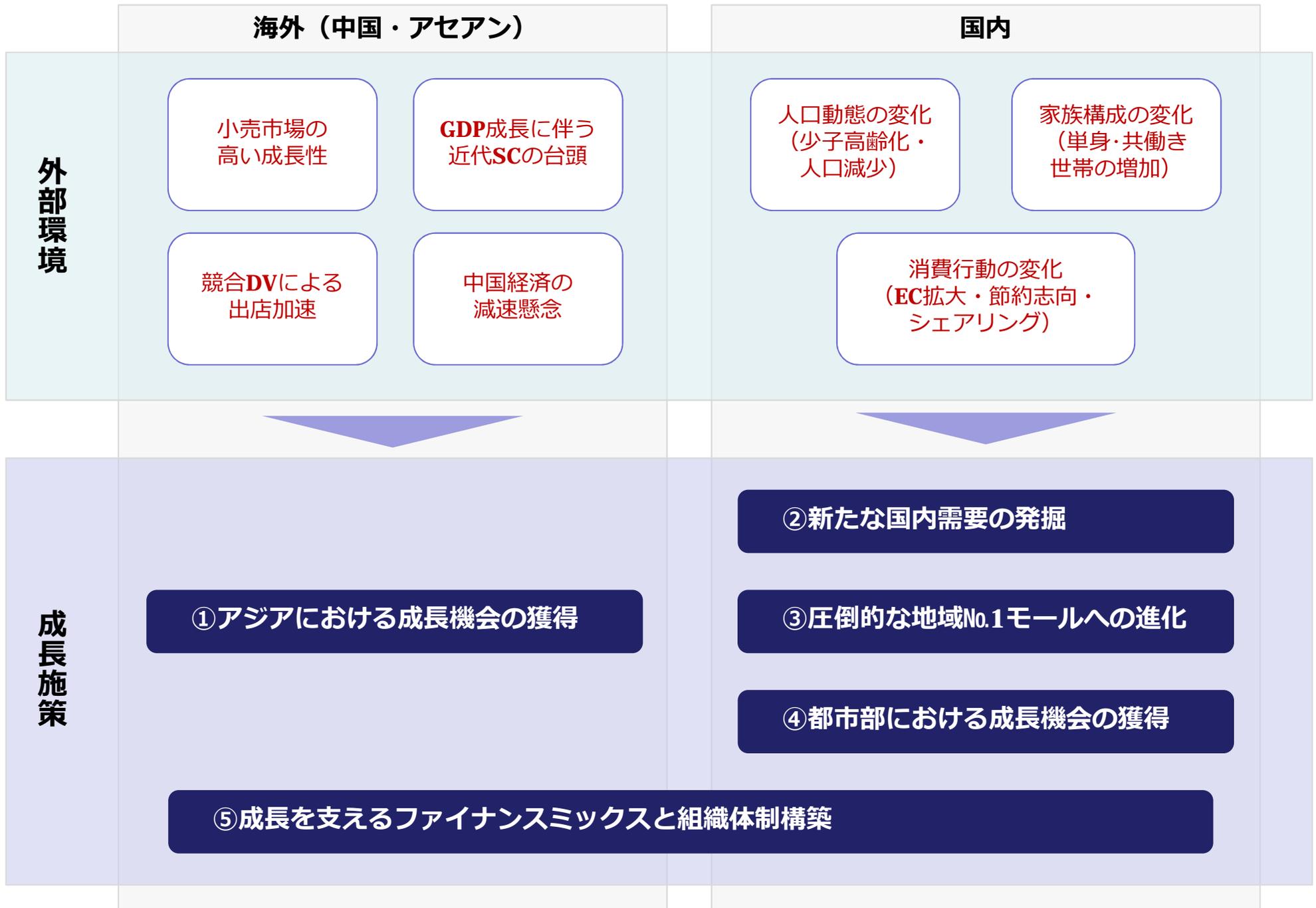
◆経営指標

		[実績]	[計画]	[計画]
		2016年度	2019年度	2025年度
効率性	ROIC	4.4%	4.5%	6%以上
安全性	ネットD/Eレシオ	1.0倍	1.2倍	1.0倍程度

中期経営計画

(2017～2019年度)

成長施策



<p>① アジアにおける 成長機会の獲得</p>	<p>I. ドミナント出店によるブランディングメリットの享受 II. 競争力のあるモールの開発・管理運営 III. 営業収益の向上に向けた取り組み IV. 経営の現地化推進</p>
<p>② 新たな国内需要の発掘</p>	<p>I. ハピネスモールの取り組み II. ローカリゼーションの推進</p>
<p>③ 圧倒的な 地域No.1モールへの進化</p>	<p>I. 効果の大きい増床・リニューアルの推進 II. モール空白エリアへの新規出店 III. 新たなフォーマットの構築 IV. 専門店向けESの向上</p>
<p>④ 都市部における 成長機会の獲得</p>	<p>I. 新生OPAのブランディング構築 ・既存店リニューアルと戦略的S&B・リファイニング推進 ・都市型立地における新業態開発 ・都市部への新規出店</p>
<p>⑤ 成長を支える ファイナンスミックスと 組織体制構築</p>	<p>I. 成長ビジネスモデルを支える資金調達 II. ダイバーシティ経営の推進 III. ESGの取り組み</p>

連結数値計画

◆連結業績

	[実績]	[実績]	[計画]	[計画]	
	2016年度 (2017年2月期)	2017年度 (2018年2月期)	2018年度 (2019年2月期)	2019年度 (2020年2月期)	3カ年平均 成長率
営業収益	2,697 億円	2,881 億円	3,200 億円	3,400 億円	+8.0%
営業利益	449 億円	492 億円	535 億円	600 億円	+10.1%

営業利益推移

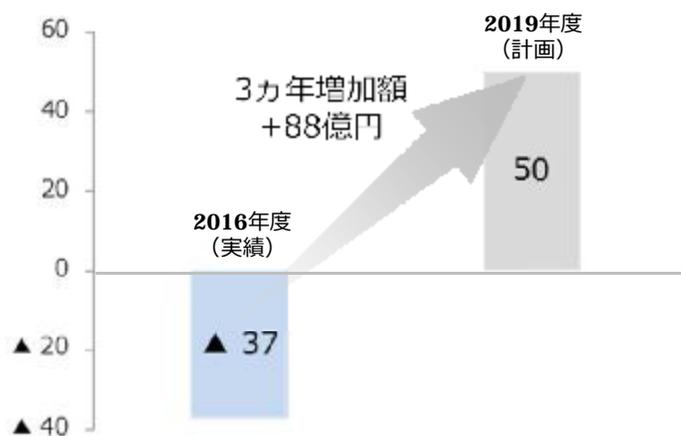


- ・海外事業は、**2017年度**に前期比+29億円の利益改善を達成。**2019年度**の利益計画は**2016年度**対比+88億円の**50億円**で変更なし。
- ・都市型ショッピングセンター事業(OPA)の収益力改善が遅れ、**2017年度**は計画比▲21億円と大幅に計画乖離。**2019年度**の利益計画を当初計画比▲20億円の**20億円**に変更。
- ・国内モール事業は、増床などの活性化効果により、**2017年度**の既存専門店売上が+1%の計画に対して前期比+2.2%と好調に推移。既存モールの収益改善が進んだことから、**2019年度**の利益計画を当初計画比+20億円の**530億円**に変更。

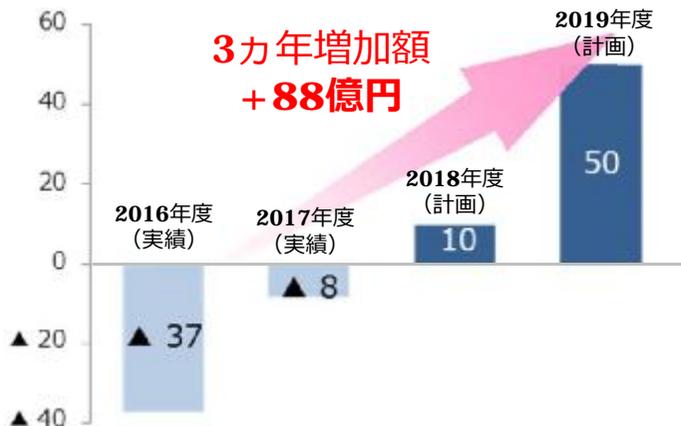
◆セグメント別営業利益

単位：億円

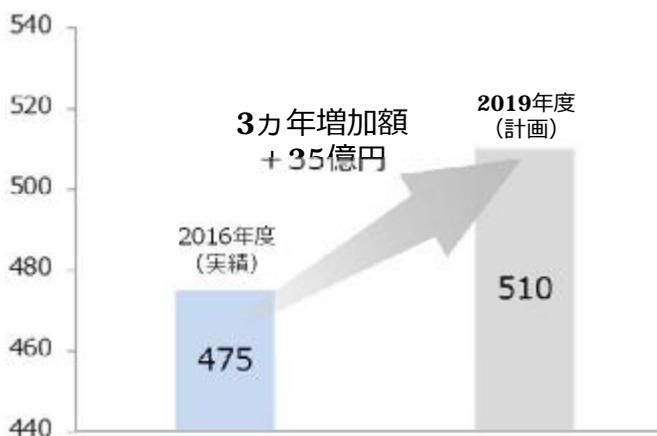
海外（中国・アセアン）



3カ年増加額 +88億円



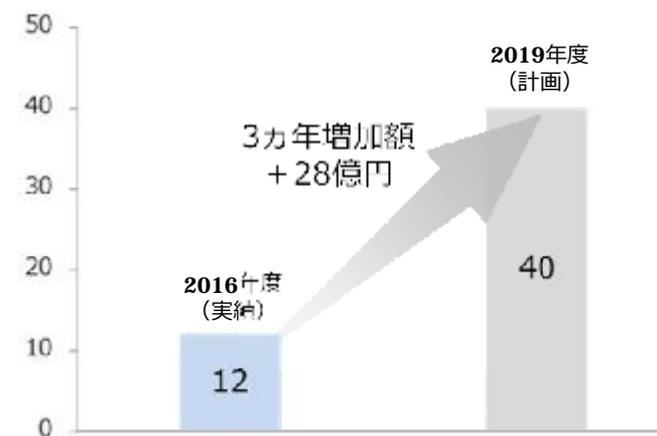
日本 モール



3カ年増加額 +55億円



日本 都市型ショッピングセンター



3カ年増加額 +8億円



**中期3カ年の新規出店は、合計27店舗を計画。
海外出店数が国内出店数を上回り、海外シフトが本格化。**

(国内10モール、海外12モール、都市型ショッピングセンター5店舗)

<海外>

・当初計画から中国1モール、インドネシア2モールが減少するが、単なる年ずれで出店加速の方針は変更なし。

<国内>

・新規出店は建設費が高止まっており、出店ペースを絞り込む。
・既存モールにおいては年間10モール程度のテナント定借満了時のテナント入替中心の活性化に加え、3カ年で8モールの増床を計画。

◆新規出店数と活性化モール数

海外（中国・アセアン）

新規出店数	[実績]	[計画]	[計画]	計
	2017年度	2018年度	2019年度	
海外	5	3	4	12
中国	4	2	2	8
アセアン	1	1	2	4

日本

新規出店数	[実績]	[計画]	[計画]	計
	2017年度	2018年度	2019年度	
モール ※①	5	4	1	10
都市型ショッピングセンター	2	2	1	5

活性化モール数	2017年度	2018年度	2019年度	計
増床 ※②	2	2	4	8
リニューアル	12	8	10	30

①(新規モール)+②(増床)	7	6	5	18
----------------	---	---	---	----

- ・ 2017年度の投資実績は、国内においてイオンモール広島府中等の既存資産買取に伴う**計画外投資が500億円発生**。
- ・ 上記に伴い、3カ年投資の合計は**当初計画から+500億円の5,000億円に変更**。

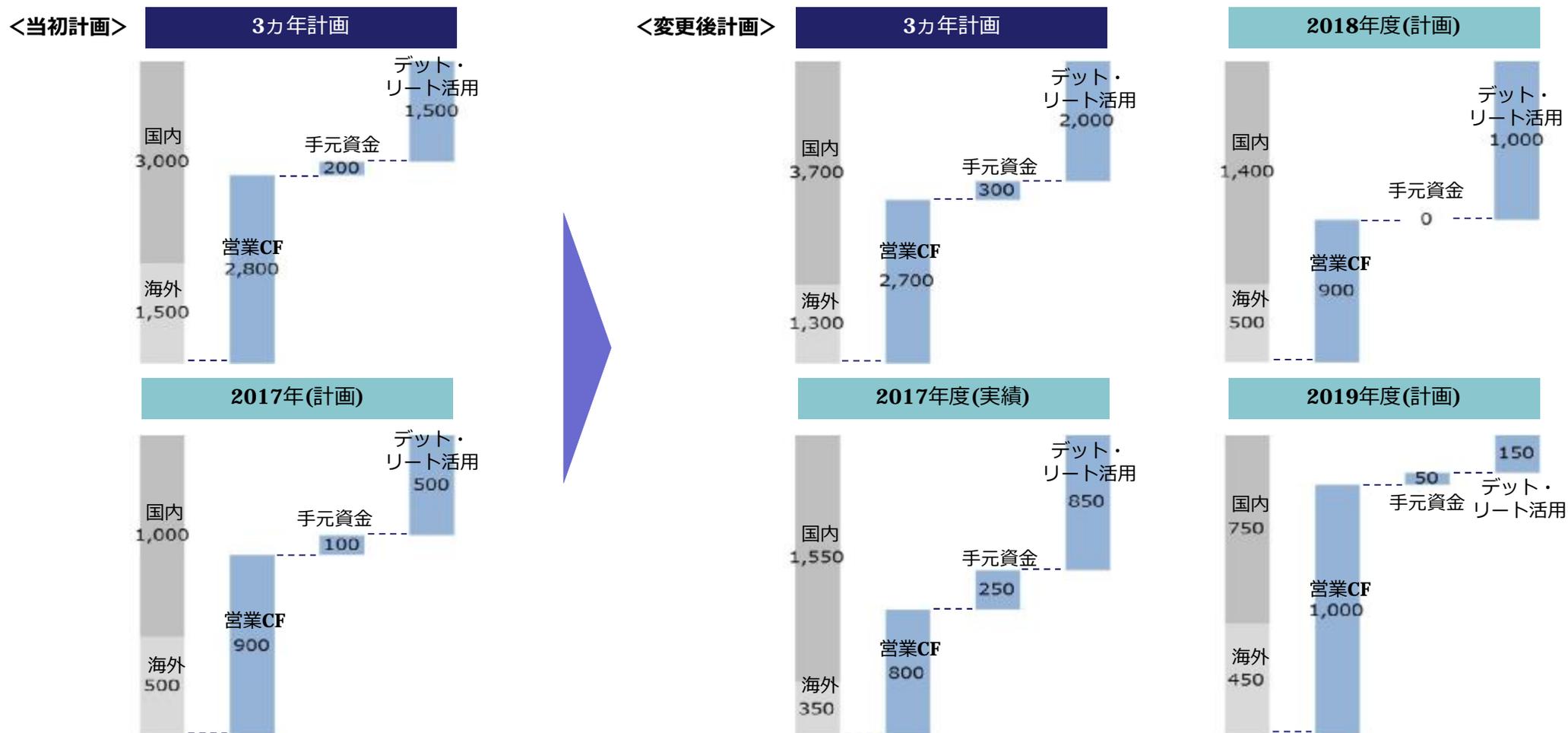
◆設備投資計画

変更後計画	[実績]		[計画]		[計画]		単位：億円
	2017年度	当初計画との差異	2018年度	2019年度	3カ年計	当初計画との差異	
設備投資	1,900	+400	1,900	1,200	5,000	+500	
日本	1,550	+550	1,400	750	3,700	+700	
新規モール出店	800	+300	900	300	2,000	+300	
既存モール活性化	700	+400	300	400	1,400	+400	
都市型SC (OPA)	50	▲150	200	50	300	±0	
海外	350	▲150	500	450	1,300	▲200	
中国	150	▲50	100	50	300	▲300	
アセアン	200	▲100	400	400	1,000	+100	

- ・ 3カ年の設備投資5,000億円に対する資金調達は、
営業キャッシュ・フロー：2,700億円 手元資金：300億円 デット・リート活用：2,000億円
- ・ 海外事業がキャッシュ・フローを生み出すステージに入っており、次期中期以降はフリーキャッシュ・フローの大幅な改善が視野に入っている。
- ・ 当中期においてはレバレッジをかけ、中長期的には財務規律としてネットD/Eレシオを1倍程度に抑える。

◆資金調達計画

単位：億円



海外事業

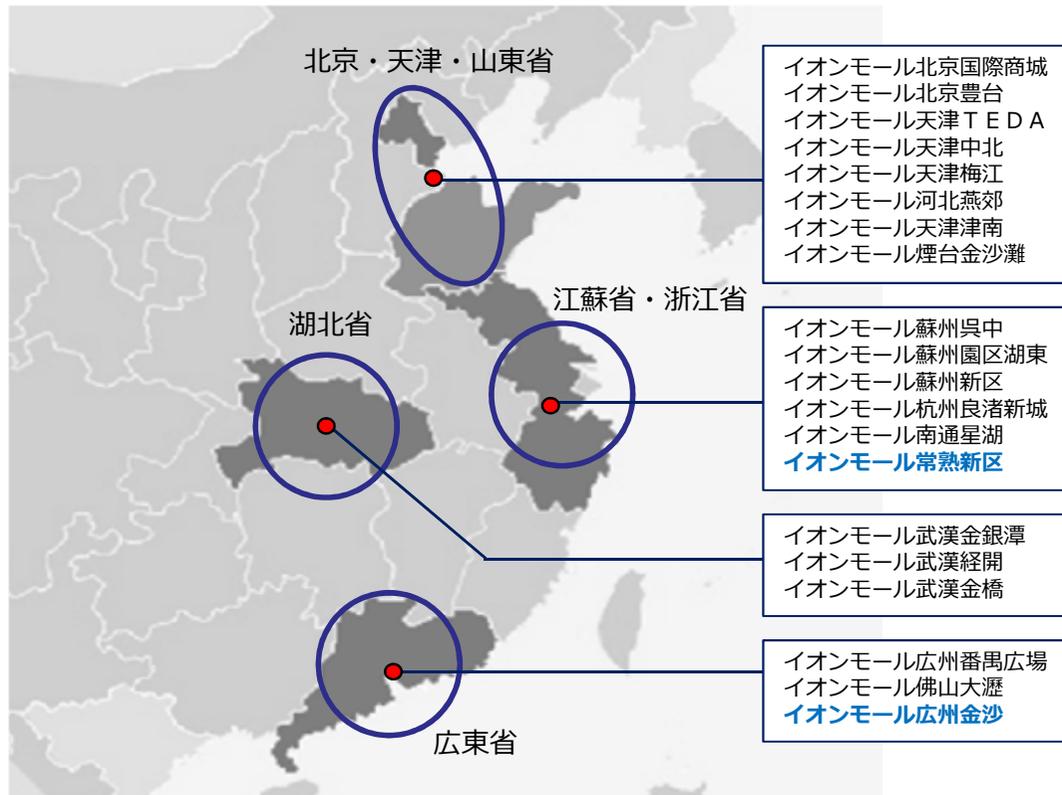
I. ドミナント出店によるブランディングメリットの享受

戦略エリア

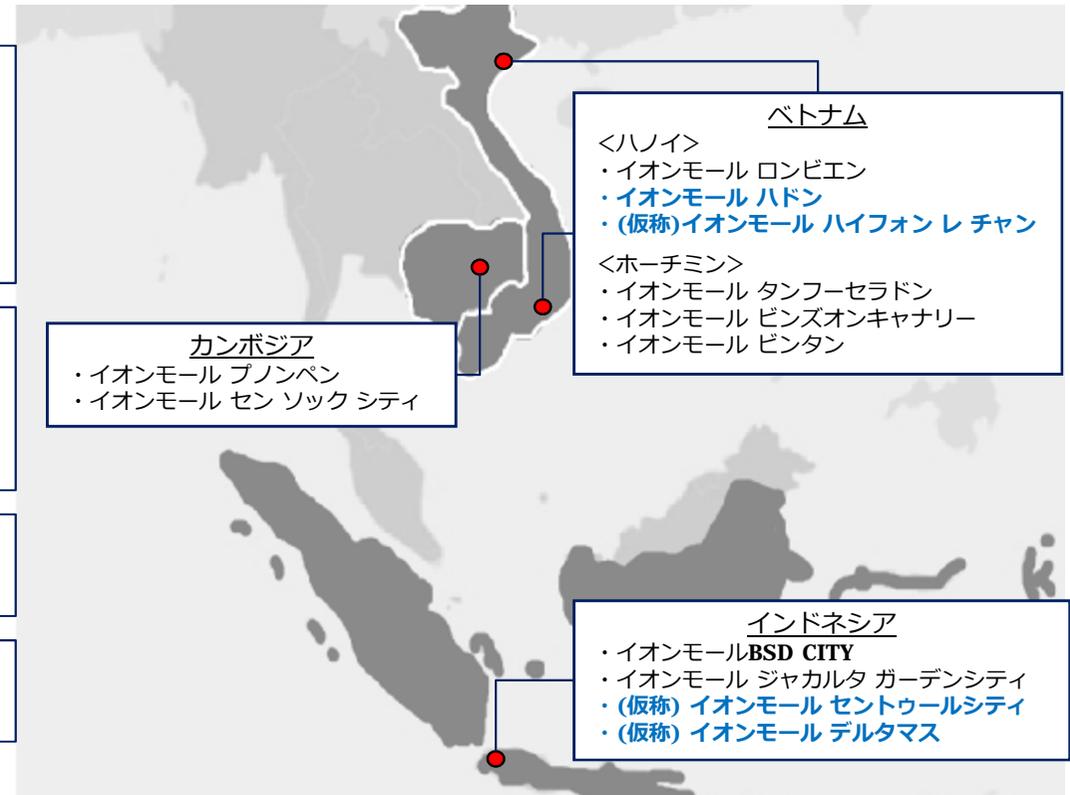
リーシング条件の向上

蘇州エリアのドミナンス効果

中国4エリア、アセアン3国で
ドミナント出店



※青字は新規オープン予定店舗



※青字は新規オープン予定店舗

2018年6月30日現在

I. ドミナント出店によるブランディングメリットの享受

戦略エリア

リーシング条件の向上

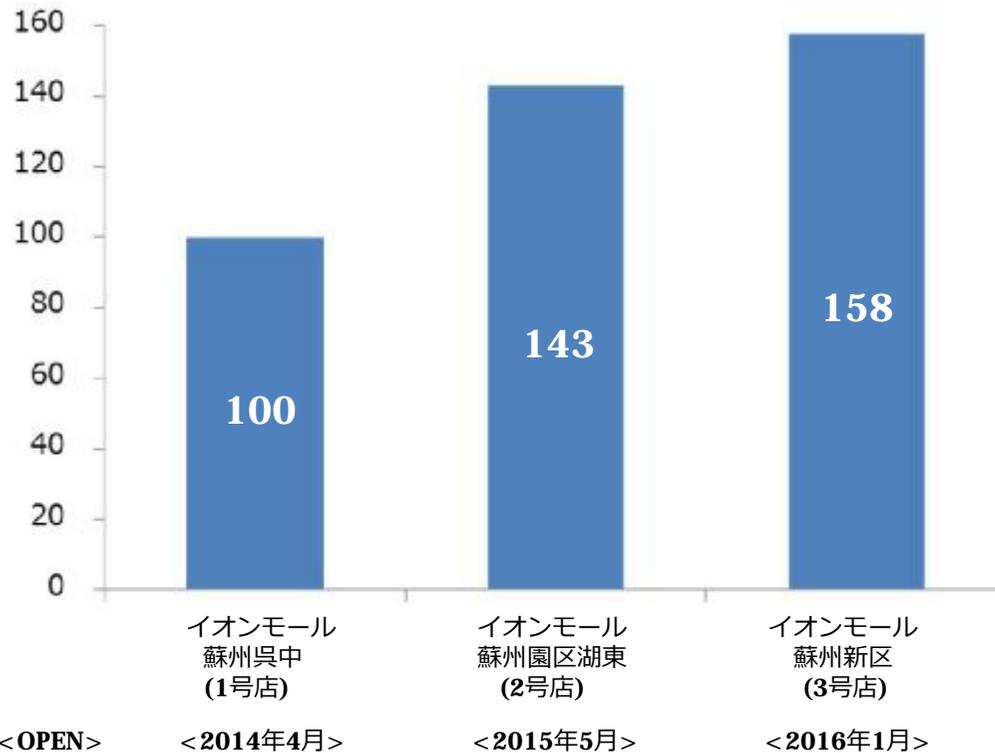
蘇州エリアのドミナンス効果

蘇州新区(3号店)の専門店月坪賃料は蘇州呉中(1号店)の**約1.6倍**

◆蘇州エリア3モールのリーシング条件の比較 (オープン後5ヶ月で比較)

月坪賃料

※蘇州呉中の値を100とした場合の比率で表示。



I. ドミナント出店によるブランディングメリットの享受

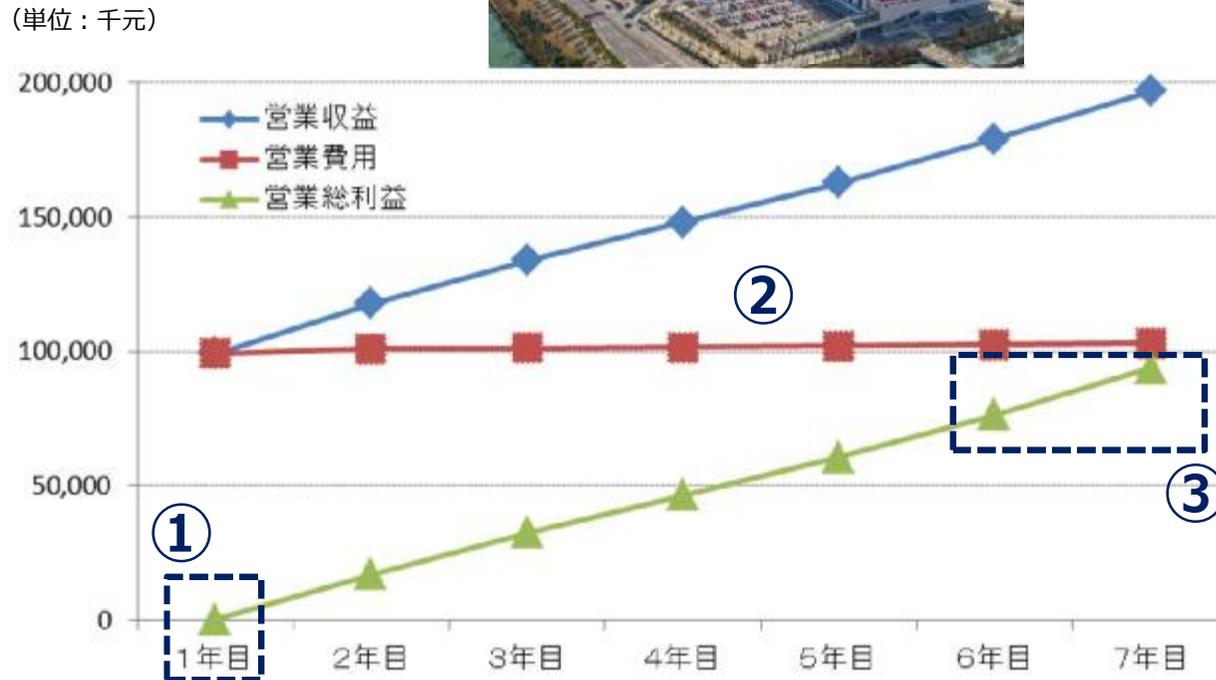
戦略エリア

リーシング条件の向上

蘇州エリアのドミナンス効果

- ①蘇州市3号店であり、エリアブランディングが向上したことでオープン時のリーシング条件が改善された効果により、トップラインが計画を上回って推移。**初年度より黒字化を達成。**
- ②不動産コスト（オーナーへのマスターリース賃料）は、不解約期間（8年）においては**期間中の平均コストでの計上**となるため、営業費用はほぼ一定での推移。
- ③2年目以降、計画通りのトップライン推移と仮定すると、**オープン後6~7年目には国内モールと同水準の利益計上**となる見込み（営業総利益ベースで**10数億円**）。

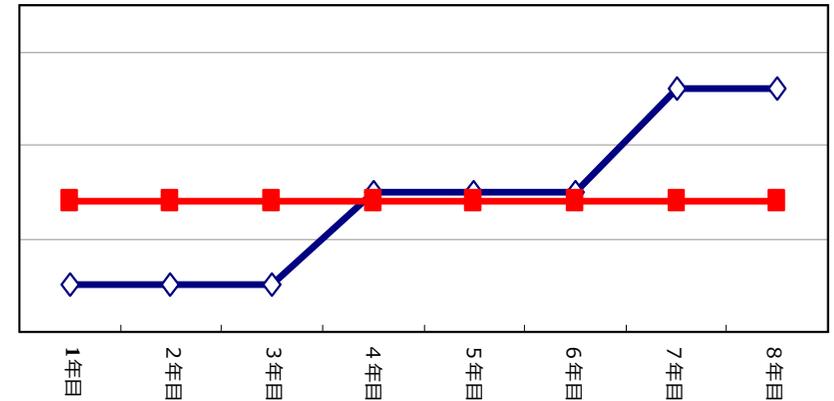
イオンモール蘇州新区 (2016年1月オープン)



平均家賃と傾斜家賃について

<賃料比較>

- ◇ 傾斜家賃 (実際に支払う家賃)
- 平均家賃 (会計上の家賃)



平均家賃

当初は実際に支払っていない家賃が計上され、4年目以降は実際賃料より安くなる。

Ⅱ. 競争力のあるモールの開発・管理運営

① モータリゼーションに対応した大規模駐車場



イオンモール 煙台金沙灘

② ディスティネーションに対応する売り場編集力



イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ

③ エンターテインメント強化によるコト消費対応



イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ

④ 集客力あるイベント開催



イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ

⑤ 快適・安全・安心な施設の追求



Ⅲ. 営業収益の向上に向けた取り組み

◆エリアマーケティング力の向上



<エリア単位でのセールス実施>



江蘇・浙江エリア
アリペイと
共同イベント
を実施。



ベトナム
ブラックフライデーを積極的に実施。

◆床価値の向上

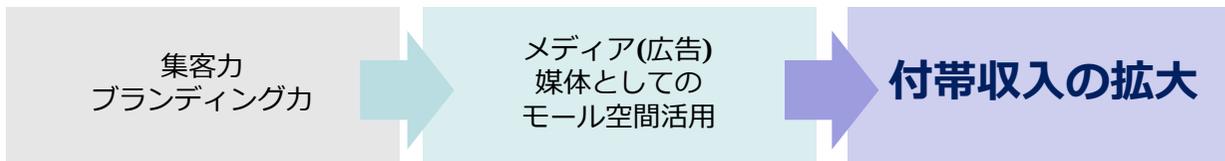


<テナント募集説明会>



イオンモール煙台金沙灘
(2018年度オープン予定)
テナント企業265社、計409名が参加
(物販156社、飲食他109社)

◆付帯収入の拡大



<モール空間の活用>



中国
イベントスペースを
活用した有料催事

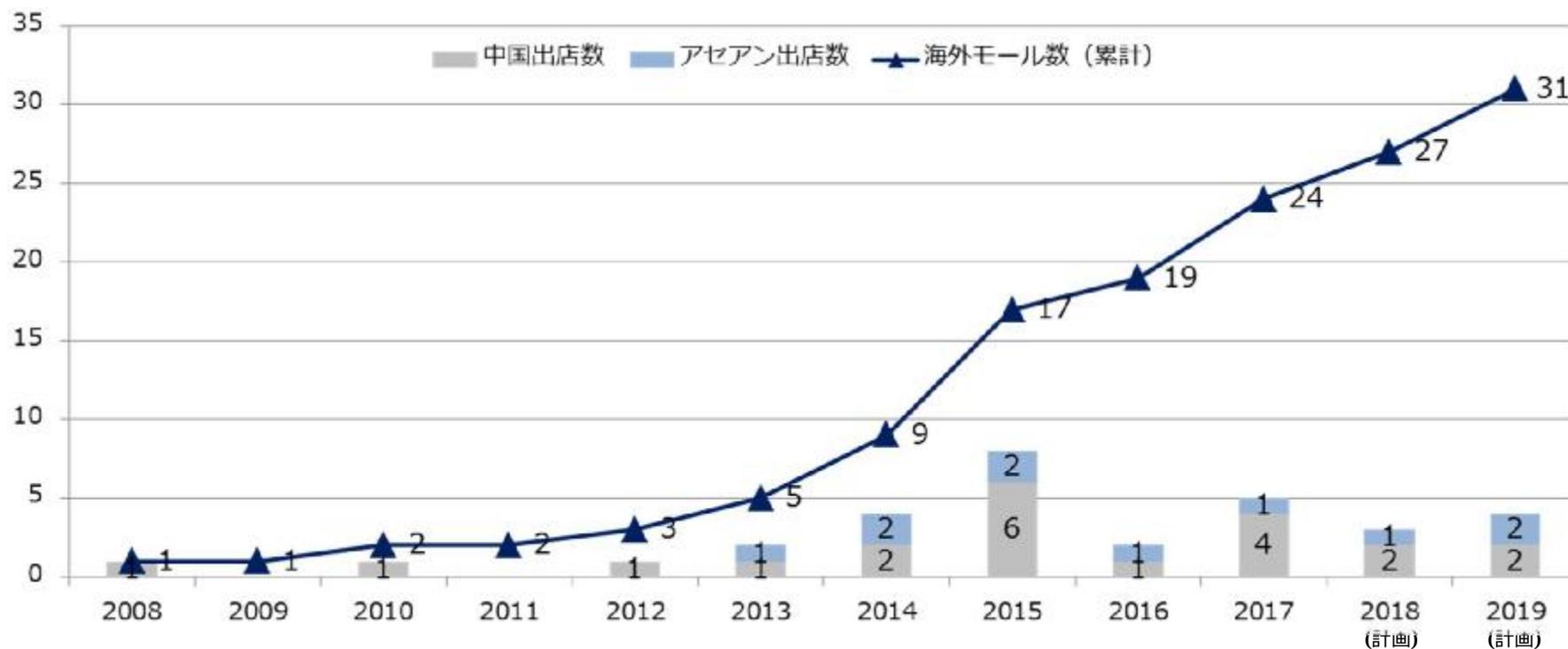


カンボジア
スポンサー付き装飾

中期3カ年 新規出店計画

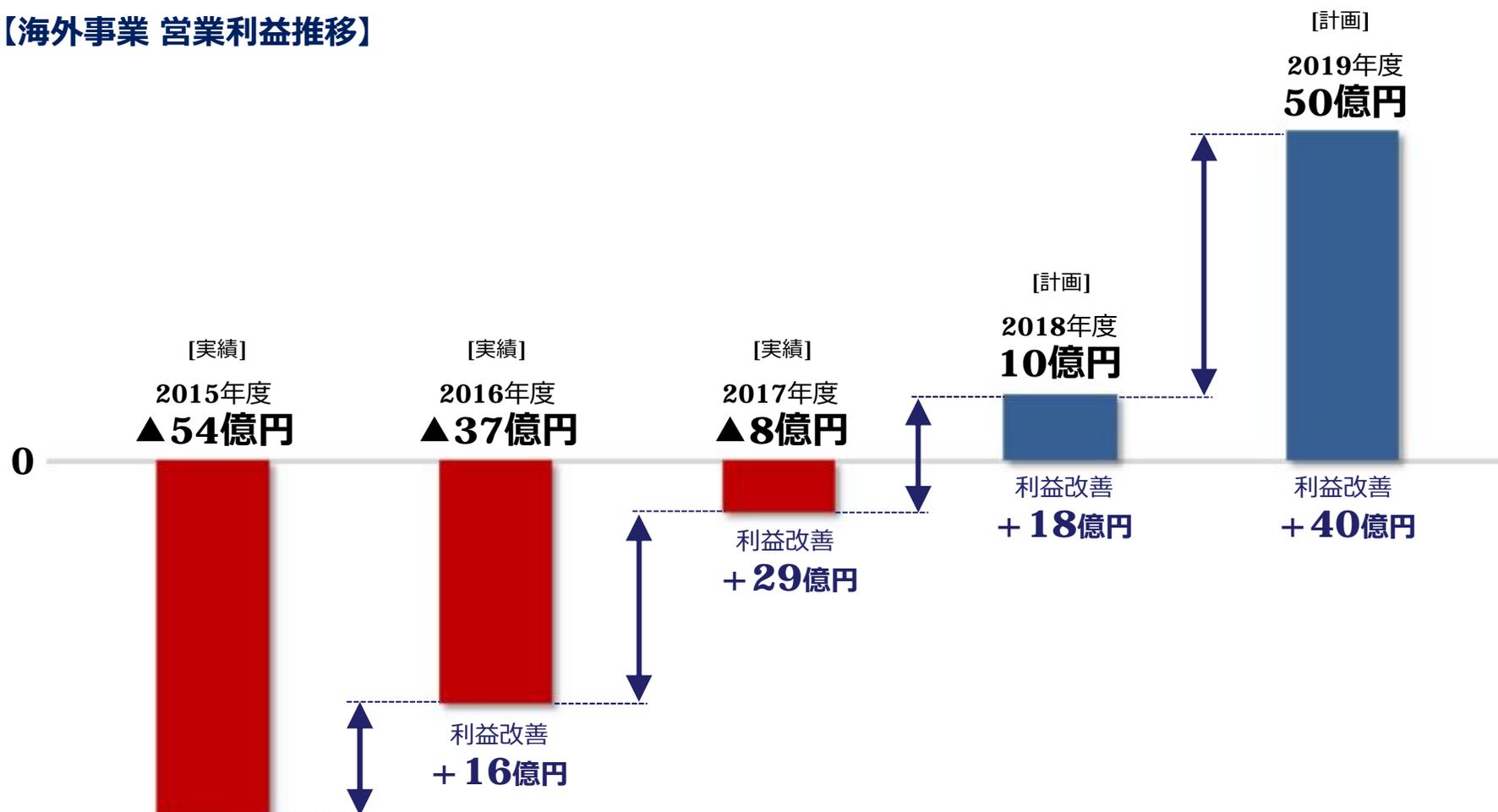
中期3カ年で、中国8モール・アセアン4モールの計12モールを出店

	2016年度末	3カ年計画			3カ年合計	2019年度末
		2017年度(実績)	2018年度(計画)	2019年度(計画)		
海外	19	5	3	4	12	31
中国	13	4	2	2	8	21
アセアン	6	1	1	2	4	10



2017年度第4四半期(3ヶ月)から黒字化へ → **利益拡大ステージへ**

【海外事業 営業利益推移】



北京・天津エリア

<北京・天津エリア・山東省における出店>



イオンモール煙台金沙灘



江蘇・浙江エリア



※赤字は新規オープン予定店舗



イオンモール常熟新区



	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール常熟新区	2019年度	約 149,000 m ²	約 63,000 m ²	約 3,700 台	未公表

湖北エリア



広東エリア



※赤字は新規オープン予定店舗

イオンモール広州金沙



	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール広州金沙	2018年度	約 85,000 m ²	約 65,000 m ²	約 3,600 台	未公表

ベトナム



イオンモール
ハイフォンレチャン
(オープン予定)

<ハノイ>



<ホーチミン>



※赤字は新規オープン予定店舗

	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール ハドン	2019年度	約 98,000 m ²	約 74,000 m ²	車 約 2,100 台 バイク 約 9,000 台	約 200 店舗
(仮称) イオンモール ハイフォンレチャン	2020年度下期	約 98,000 m ²	約 74,000 m ²	車 約 2,100 台 バイク 約 9,000 台	約 200 店舗

イオンモール ハドン

(仮称) イオンモール ハイフォンレチャン



インドネシア

イオンモール ジャカルタ ガーデンシティ

※オープン年度は日本の会計年度で記載。
海外現地法人の決算期は12月末。

オープン日：2017年9月30日

敷地面積：85,000m²

総賃貸面積：63,000m²

駐車台数：3,000台

専門店数：220店舗



アミューズメント機能を強化



東ジャカルタNo.1の食の空間



インドネシア



(仮称) イオンモール セントウルシティ (2019年度オープン予定)
地元不動産ディベロッパーとのマスターリース契約による出店



オーナー：セントウルシティ社 (PT SENTUL CITY TBK)
 ジャカルタ中心部より車で約1時間の西ジャワ区ボゴールに位置する開発エリアにおいて、住宅、オフィス、学校、病院、ゴルフ場、スポーツ施設、コンベンションセンター等、約3,000haにおよぶ開発を手がける。

	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
(仮称) イオンモール セントウルシティ	2019年度	約 78,000 m ²	約 71,000 m ²	車 約 3,000 台	約 250 店舗
(仮称) イオンモール デルタマス	2022年以降	約 200,000 m ²	未公表	未公表	未公表

※赤字は新規オープン予定店舗

カンボジア



イオンモール セン ソック シティ
 プノンペン中心部から北部約10kmに位置。計画地周辺は住宅開発が進んでおり、近隣だけでなくプノンペン中心部からのアクセスも良好な立地。

	オープン日	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数	専門店数
イオンモール セン ソック シティ	2018年5月30日	100,000 m ²	85,000 m ²	車 2,300 台 バイク 3,000 台	200 店舗

国内事業

日本と米国におけるSC業界の現況

- ・米国の大型モール数は日本の**6.3倍**、1モール当りの人口は日本の**0.4倍**と、**米国は過剰供給**となっている。
- ・日本においては、**人口当たりの大型モール数は少なく**、米国とはショッピングモール事情が大きく異なっている。

<日米SC比較>

	日 本 (2017年12月末現在)	米 国 (2017年12月末現在)	米国/日本
大型モール数 ※	190	1,202	6.3倍
人口 (万人)	12,674	32,588	2.6倍
1モール当り人口 (万人)	66	27	0.4倍
SC総売上高 (10億円)	31,986	303,677	9.5倍
小売総売上高 (10億円)	142,514	569,303	4.0倍
小売総売上高における SC総売上高シェア	22.4%	53.3%	2.4倍

※日本は40,000㎡以上、米国はRSC、SRSCのSC数

※米国SC総売上高、小売総売上高はUS\$ = 112.17円 (2017年の年間平均レート) にて換算

※出典：社団法人日本ショッピングセンター協会、経済産業省「商業動態統計調査」より当社にて作成

国内マーケットの認識

人口動態の変化

家族構成の変化

消費行動の変化

情報環境の変化

リアル店舗の
選別・淘汰

アパレル業界不振

Eコマースの拡大

労働力の減少

国内商業施設の優勝劣敗が進展

業界再編により相次ぐ大型競合店の閉店

売上8,100億円、雇用40,000人の獲得機会

新たな
国内需要の発掘

(ターゲットエイジ拡大、既存商圏の深耕)

圧倒的な
地域No.1モールへの進化

都市部における
成長機会の獲得

淘汰を加速させる中で最終的に勝ち残る施設となり
淘汰により生まれるメリットを享受

I. ハピネスモールの取り組み

元気は、しあわせ。

ハピネスモール

- HEALTH -

「健康」

カラダもココロも
元気に



- WELLNESS -

「感動・充足」

気軽に芸術や
カルチャーを体験



- COMMUNITY -

「地域」

地域の人々の
社会関係性を作る活動



- OPPORTUNITY -

「商品・サービス体験」

新たな価値観や生活と
出会う機会づくり



「お客さまの素敵な想いでづくり」 体験の場へ

I. ハピネスモールの取り組み

HEALTH



「健康」

カラダもココロも元気に

「モールウォーキング」



「ヨガ教室」

イオンモール沖縄ライカム



「オペラ de イオンモール オペラの楽しみ方」

イオンモール長久手・イオンモール常滑では、イオンシネマの劇場を使用して開催



WELLNESS



「感動・充足」

気軽に芸術やカルチャーを体験

I. ハピネスモールの取り組み

COMMUNITY



「地域」

地域の人々の社会関係性を作る活動

「つがる市立図書館」



イオンモールつがる柏

「CHITA CAT プロジェクト」



「CHITA」	知多半島
「Centrair」	中部国際空港
「A EONMALL」	イオンモール
「T OKONAME」	常滑



イオンモール常滑

イオン同友店ロールプレイング コンテスト全国大会



OPPORTUNITY



「商品・サービス体験」

新たな価値観や生活と出会う機会づくり

II. ローカリゼーションの推進

◆究極のローカライズ2017

各モールが、
「産」(企業) **「学」(教育機関)**
「官」(行政) **「民」(団体)**
「文」(文化・歴史) **「品」(産品)**
 の6ジャンルとコラボレーションし、
 立地する地域の魅力を発信する取り組み。
 2017年度は244企画から厳選した12企画を実施。

<実施モール一覧>

モール	企画タイトル	企画概要
カテプリ	新！サッポロオ・レ！	地元企業と連携し、北海道の「牛乳」にフォーカスしたイベント・プロモーションを実施。
イオンモール春日部	8月10日(ハット)の日	全国的に名を馳せる「春日部の麦わら帽子」を「知る」、そして「楽しむ」企画。
イオンレイクタウンmori	GO! GO! 「じてんしゃ王国」埼玉	じてんしゃ文化が根付く埼玉。越谷市の魅力を感じてんしゃを通じてPR。
イオンモール日の出	発見！西多摩手箱	足元商圏である西多摩地域8都市とコラボ、モールが架け橋となり相互魅力発信。
イオンモール多摩平の森	日野映像支援隊	イオンモールを日野市ロケ地紹介の情報発信基地として、舞台となった作品の上映会を実施。映像のロケ地支援から地域活性化をめざす。
イオンモール岡崎	Jazzをもっと身近に ～Jazzから広がる音楽～	イオンモール岡崎を「岡崎のJazz文化」発信拠点とする企画の実施。

モール	企画タイトル	企画概要
イオンモール各務原	本の街のイオンモール	本を通じたコミュニケーションで各務原をもっと楽しみ、もっと好きになる「本の街のイオンモール」を実施。
イオンモール大和郡山	「金魚すくい」で大和郡山市を元気にする！	「金魚」に触れ合い、地域の子どもたちに「金魚すくい」の楽しさを広げることで、「金魚のまち」を実現する。
イオンモール和歌山	和歌山サケジヨフェス	酒を切り口に和歌山で活躍されている女性をクローズアップ。
イオンモール倉敷	mt-マスキングテープ-de あそぼ ～イオンモール倉敷にイロドリを～	リニューアルに伴う工事で発生する仮囲いへのマスキングテープを使ったアートイベントを開催。
イオンモール新居浜	工都ものづくり祭り	地元製造業・専門学校を集めた新居浜のものづくりのPRイベント開催。
イオンモール沖縄ライカム	究極のトゥシビー	沖縄県伝統の生年祝いである「トゥシビー」を専門店や北中城村観光協会と協力しながら館内全体で実施。

◆公共的機能の拡充

モールの社会的機能

① 販売機能

② 雇用創出

③ 公共的機能

④ 地域開発

⑤ 環境共生

行政出張所



クリニック



郵便局



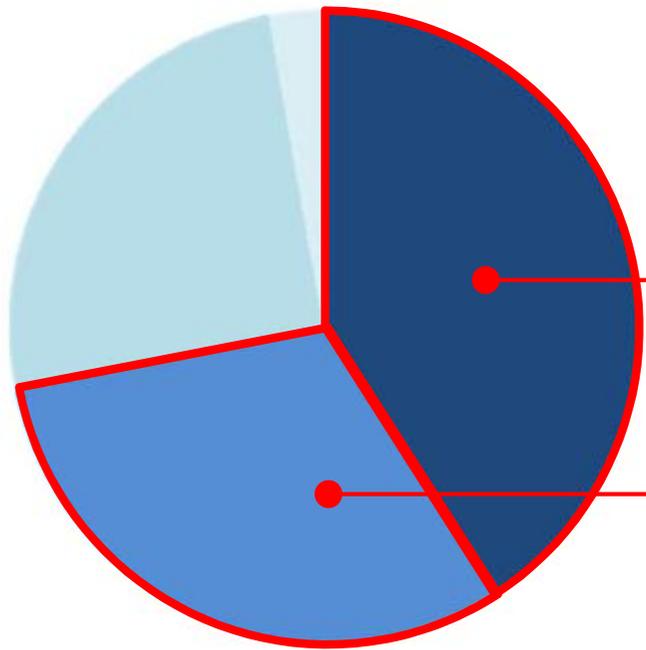
図書館



地域になくってはならない施設、当てにされる施設

I. 効果の大きい増床・リニューアルの推進

<2025年度にめざす当社モール区分>



Aモール

お客さまから最も支持されるモール=**地域No.1集客**をするモール

圧倒的**地域No.1**モールで**40%以上**

+

地域No.1モールを含めて**70%以上**

- 圧倒的**地域No.1**モール
- 地域No.1**モール
- ストロングセカンド
- 機能見直し

※構成比は、イオンリテール(株)の大型商業施設70の管理・運営業務受託は除く。

I. 効果の大きい増床・リニューアルの推進

◆3カ年活性化計画

	[実績]	[計画]	[計画]	
	2017年度	2018年度	2019年度	3カ年計
増床	2 モール	2 モール	4 モール	8 モール
リニューアル	12 モール	8 モール	10 モール	30 モール

※イオンリテール(株)の大型商業施設は除く。

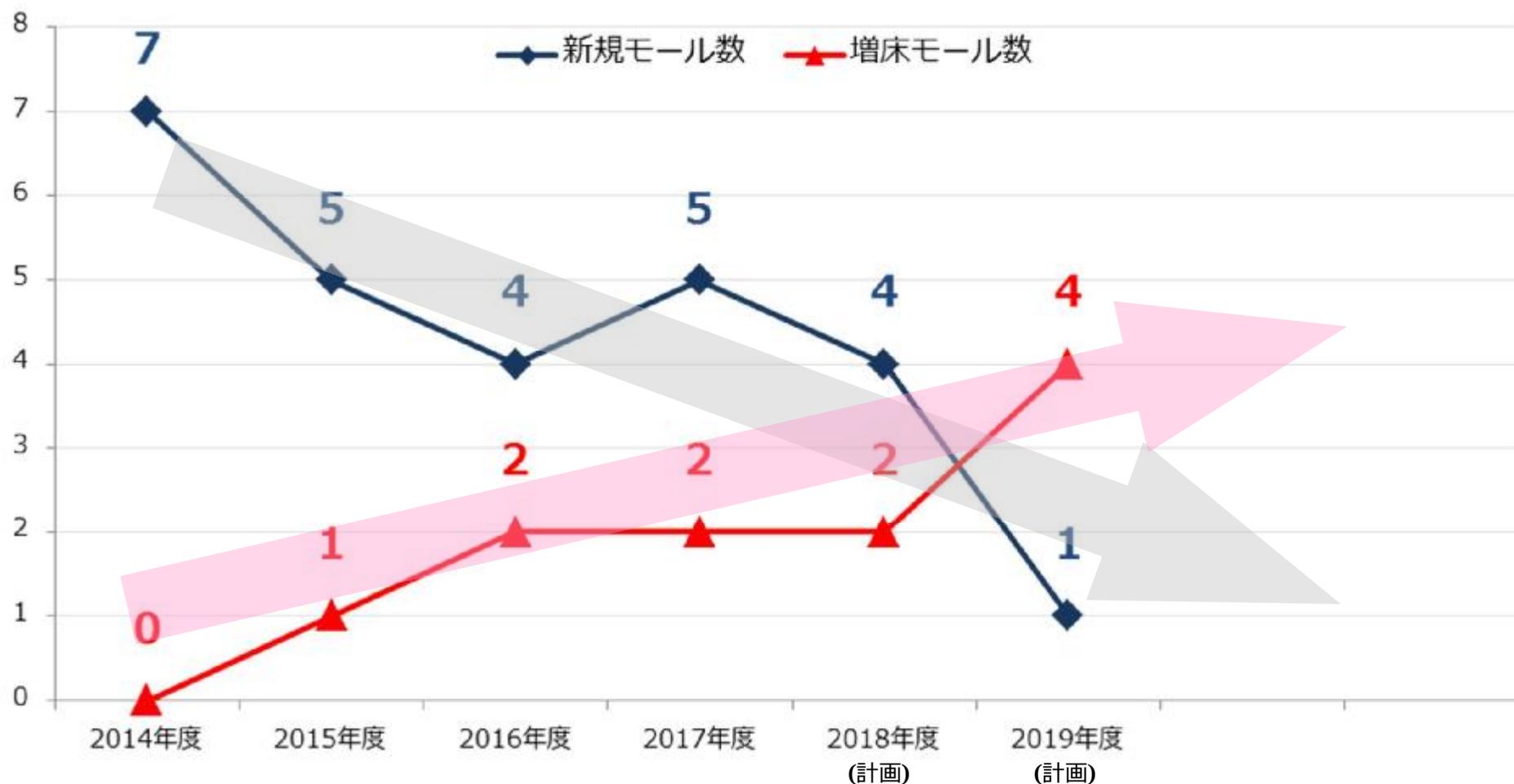
◆活性化の考え方

イオンモールのモール年齢**10.9年(平均)**。活性化によりさらに価値を向上
 ~既存モールの大規模活性化(リニューアル)を推進し、ショッピングモールの魅力・鮮度をアップし、収益力強化を図る~



I. 効果の大きい増床・リニューアルの推進

建設費が高止まりしており、新規出店は空白エリアへの出店に厳選し、より投資効率の高い増床リニューアルに経営資源を投入



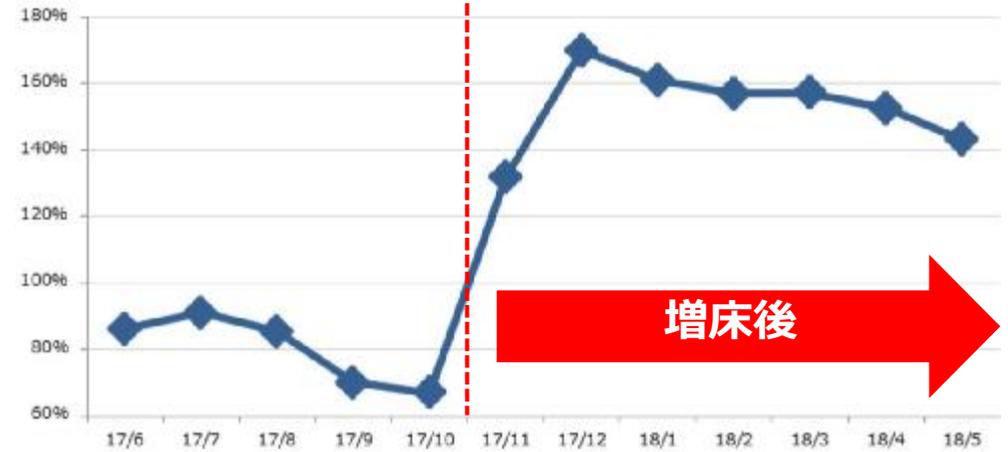
I. 効果の大きい増床・リニューアルの推進

イオンモール甲府昭和 (2017年11月23日増床)



増床後の専門店売上昨比 **161.0%**

(期間：2017年11月23日～2018年5月31日)

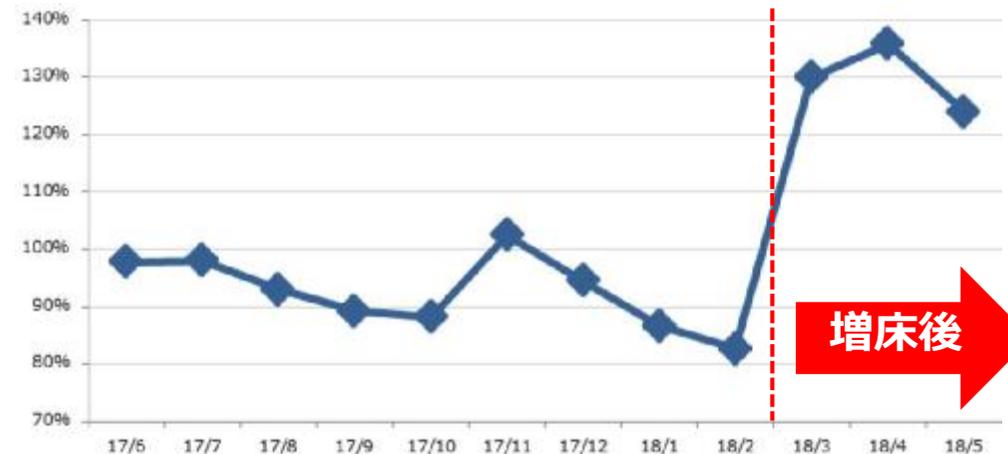


イオンモール宮崎 (2018年3月16日増床)



増床後の専門店売上昨比 **135.9%**

(期間：2018年3月16日～2018年5月31日)



I. 効果の大きい増床・リニューアルの推進

イオンモール熊本 2018年7月20日 増床棟オープン予定



オープン： 2005年10月
敷地面積： 207,000㎡
総賃貸面積： 84,000㎡ (+11,000㎡)
駐車台数： 5,000台 (+500台)
専門店舗数： 200店舗 (+40店舗)

イオンモール東浦 2019年春 増床棟オープン予定



オープン： 2001年7月
敷地面積： 110,000㎡ 総賃貸面積： 75,000㎡ (+12,000㎡)
駐車台数： 4,600台 専門店舗数： 170店舗 (+50店舗)

イオンモール高岡 2019年秋 増床棟オープン予定



【増床棟計画概要】
敷地面積：約64,000㎡ (本棟・増床棟合計：約192,000㎡)
専門店舗数：約70店舗

すでに地域 No. 1 のモールを、増床することにより、
さらに圧倒的な地域 No. 1 モールへと進化

Ⅱ. モール空白エリアへの新規出店

◆3カ年新規出店計画

	2016年度末	3カ年計画			3カ年合計	2019年度末
		2017年度 (実績)	2018年度 (計画)	2019年度 (計画)		
モール	147	5	4	1	10	155

※ショッピングセンター ソヨカ ふじみ野は2018年2月20日をもってPM契約を終了しました。
 ※ならファミリーは、2018年2月28日をもってPM契約を終了しました。

◆国内モール 新規出店計画一覧 (2018年度)

※リリースしている新規物件のみを記載しています。

施設名称	所在地	オープン	敷地面積	総賃貸面積	駐車台数
イオンモール座間	神奈川県座間市	2018年3月16日	58,000 m ²	50,000 m ²	2,500 台
THE OUTLETS HIROSHIMA	広島県広島市	2018年4月27日	268,000 m ²	53,000 m ²	4,000 台
イオンモールいわき小名浜	福島県いわき市	2018年6月15日	44,000 m ²	50,000 m ²	1,300 台
イオンモール津南	三重県津市	2018年秋	約 108,000 m ²	約 60,000 m ²	未公表



THE OUTLETS HIROSHIMA



イオンモールいわき小名浜

IV. 専門店向けESの向上

少子高齢化による生産年齢人口減少（労働力不足）

専門店企業における離職率、採用難度の上昇

DV・専門店の
枠を超えた課題解決

- ① 一人でもリフレッシュできる「休憩室」
- ② 時間・経済価値を実感できる「従業員特典」
- ③ 子どもがいても安心して働ける「育児サポート」
- ④ 出勤するともらえる「WAONポイント」
- ⑤ **Happy**になる「心と身体のサポート」



多様化する社会に対応した働きやすい、働き続けやすい施設づくりを推進
専門店企業から選ばれるモールへ

I. 新生OPAのブランディング構築



◆3カ年新規出店計画

	2016年度末	3カ年計画			3カ年合計	2019年度末
		2017年度	2018年度	2019年度		
都市型ショッピングセンター	20	2	2	1	5	24

※ 三宮オーパは2018年2月28日をもって閉店。

◆2018年度 国内都市型ショッピングセンター 新規出店計画一覧

施設名称	所在地	オープン	敷地面積	総賃貸面積
那覇オーパ (マスターリース)	沖縄県那覇市	2018年秋	約 12,800 m ²	約 5,200 m ²
(仮称) 八王子オーパ (マスターリース)	東京都八王子市	2018年秋	約 4,000 m ²	約 6,200 m ²

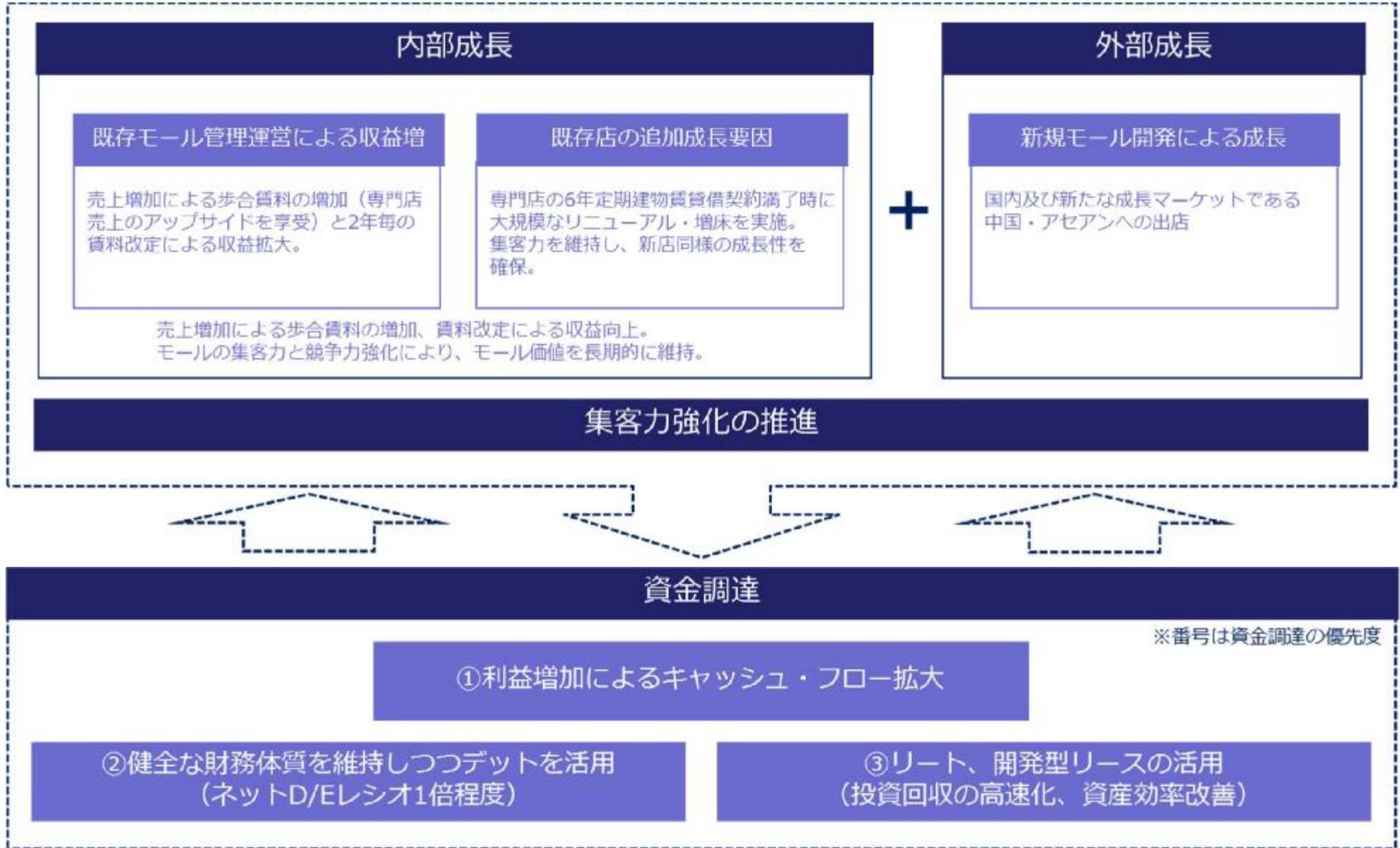


那覇オーパ



(仮称)八王子オーパ

I. 成長ビジネスモデルを支える資金調達



Ⅱ. ダイバーシティ経営の推進

平成29年度「なでしこ銘柄」に2年連続、不動産セクターでは唯一選定

なでしこ銘柄は、東証一部上場企業の中から、業種ごとに、女性が働き続けるための環境整備を含め、女性人材の活用を積極的に進めている企業を紹介し、「多様な人材を活かすマネジメント能力」や「環境変化への適応力がある」という点で、「成長力のある企業」とあるとも考えられます。



なでしこ銘柄とは

「女性活躍推進」に優れた上場企業を「中長期の企業価値向上」を重視する投資家にとって魅力ある銘柄として紹介することを通じて、企業への投資を促進し、各社の取り組みを加速化していくことを狙いとしています。平成24年度より、東京証券取引所と実施しており、女性活躍推進に関するスコアリング基準に従って評価を行い、さらに財務指標によるスクリーニングを実施した上で選定されています。

「企業主導型保育事業」としての保育施設を拡大

当社およびイオングループの商業施設に展開する「イオンゆめみらい保育園」は、イオングループおよび専門店従業員の0歳から就学前のお子さまを預かる事業所内保育施設です。子育てをしながら働く従業員の活躍支援を目的に、保育事業者との利用提携を含めて全国24ヶ所で運営しており、内16ヶ所が企業主導型保育事業に認定されています（2018年6月末現在）。

企業主導型保育事業

企業主導型の事業所内保育事業を主軸として、多様な就労形態に対応する保育サービスの拡大を行い、保育所待機児童の解消を図り、仕事と子育てとの両立に資することを目的として実施。



■イオングループ 事業所内保育所の設置状況（2018年6月末現在）

<当社モール内>

- | | | |
|--------------------------|-----------------------------------|-------------------------|
| ①イオンモール幕張新都心（千葉市認可） | ②イオンモール沖縄ライカム（北中城村認可） | ③イオンモール常滑（常滑市認可） |
| ④イオンレイクタウンmorri（越谷市認可） | ⑤イオンモール名取（企業主導型保育事業） | ⑥イオンモール名古屋茶屋（企業主導型保育事業） |
| ⑦イオンモール長久手（企業主導型保育事業） | ⑧イオンモール水戸内原（企業主導型保育事業） | ⑨イオンモール新小松（企業主導型保育事業） |
| ⑩イオンモール徳島（企業主導型保育事業） | ⑪イオンモール松本（企業主導型保育事業） | ⑫イオンモール神戸南（企業主導型保育事業） |
| ⑬イオンモール座間（企業主導型保育事業） | ⑬THE OUTLETS HIROSHIMA（企業主導型保育事業） | ⑭イオンモール広島祇園（企業主導型保育事業） |
| ⑭イオンモールいわき小名浜（企業主導型保育事業） | | |

<イオングループ各社の商業施設内に設置するイオンゆめみらい保育園>

- ①イオンスタイル湘南茅ヶ崎（茅ヶ崎市認可） ②イオンタウン始良（佐賀市認可） ③イオンモール佐賀大和（企業主導型保育事業）
 ④イオン福岡東ショッピングセンター（企業主導型保育事業） ⑤イオン乙金ショッピングセンター（企業主導型保育事業）
 ⑥イオン南風原SC（企業主導型保育事業）

※その他、一般の保育事業者との利用提携による施設2ヶ所

Ⅲ. ESGの取り組み

ESGインデックスの構成銘柄への選定

MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数 MSCI日本株女性活躍指数 (WIN)

GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)が3つのESG指数として採用した社会的責任投資インデックスのうち、以下2つの構成銘柄として選定。

※GPIF (Government Pension Investment Fund)

厚生労働省が所管する、厚生年金と国民年金の年金積立金を管理、運用する独立行政法人。

SNAMサステナビリティ・インデックス

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント社が設定する「SNAM サステナビリティ・インデックス」の構成銘柄に、**2012年**の運用開始以来**7年連続**で選定。



イオンモールKYOTO、イオンモール水戸内原 DBJ「Green Building認証※」を取得

イオンモールKYOTO、イオンモール水戸内原が、DBJ「Green Building認証」5段階のうち、**最高位となる5つ星「国内トップクラスの卓越した環境・社会への配慮がなされたビル」**の評価を取得。



イオンモールKYOTO



イオンモール水戸内原

※Green Building認証

株式会社日本政策投資銀行(DBJ)が建物の環境性能、快適性、リスクマネジメント、周辺環境・コミュニティへの配慮、ステークホルダーとの協働の5つの視点で不動産を評価するもの。

2017年のGRESB※リアルエステイト評価において、 最高位の「Green Star」評価を3年連続で取得

環境配慮やサステナビリティに関する取り組みに関して、「マネジメントと方針」および「実行と計測」の両面において優れていると高く評価され、4つのランク分けされる中で最高位の「Green Star」評価を獲得。



- ・参加の会社・ファンド全体の平均スコア63点に対し、当社は**過去最高の80点**(昨年度は79点)を取得。
- ・総合スコアでの相対評価による「GRESBレーティング」において**最上位の「5スター」**評価。
- ・2017年より開始の「GRESB開示評価(ESG情報開示レベル)」においても**最上位の「A」**評価を獲得。

※グローバル不動産サステナビリティ・ベンチマーク (GRESB)

不動産ポートフォリオやインフラ等を含む実物資産の環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)配慮を測る年次のベンチマーク。国連責任投資原則(PRI)を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に**2009年**に創設。

イオンモール松本 「いきもの共生事業所®」認証※を取得

【認証評価の一例】

- ・敷地内の一部植生の保存と高・中・低木を**70本**移植し、地域の固有の景観と環境を維持。
- ・移植できない樹木を空庭フードコート椅子やテーブルとして活用し物質循環へ配慮。



「いきもの共生事業所®」認証

「一般社団法人企業と生物多様性イニシアチブ(JBIB)」が作成・登録した「いきもの共生事業所®推進ガイドライン」に基づき、生物多様性に配慮した緑地づくりなどの取り組みを第三者的に評価・認証する「いきもの共生事業推進協議会」が行う認証制度。

<認証取得モール>

モール名	認証日
イオンモール東員	2014年2月
イオンモール多摩平の森	2015年2月
イオンモール常滑	2016年2月
イオンモール四條畷	2016年2月
イオンモール堺鉄砲町	2016年2月
イオンモール長久手	2017年2月
イオンモール松本	2018年3月

Ⅲ. ESGの取り組み

日本企業として初めてEV100※へ参加

地球環境の保全及び持続可能な社会の実現を目的として、電気自動車(EV)充電器の普及を促進。国内の全ショッピングモール※にEV充電器の設置を完了。

<設置台数>

・国内 **142モール：1,476基** ・中国 **10モール：461基**

国内



中国



※一部、PM(建物の管理および運営をオーナーより受託)モールを除いています。
※イオンリテール(株)から管理・運営を受託している70モールを含んだ数値。

※EV100

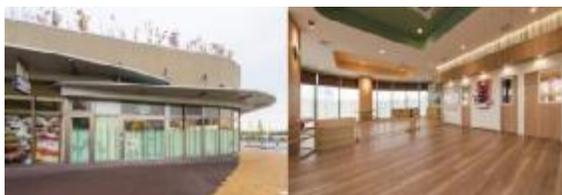
電気自動車推進イニシアチブ。温室効果ガス排出量の削減に取り組む国際環境NGOのクライメイトグループにより、2017年9月18日から24日にニューヨークで開催された気候変動週間で発足を発表。EV100とは、企業による電気自動車の使用や環境整備促進をめざす国際的なビジネスイニシアチブ。当社は、本年11月10日より正式参加。

イオンモール幕張新都心(グランドモール)、イオンゆめみらい保育園名古屋茶屋「WELL認証」適合性事前検証を実施

イオンモール幕張新都心(グランドモール)、イオンゆめみらい保育園名古屋茶屋の2施設において、「WELL Building Standard (WELL認証)」の適合性事前検証を国内商業施設としていち早く実施。



イオンモール幕張新都心



イオンゆめみらい保育園 名古屋茶屋

※WELL認証 (WELL Building Standard)

米国で開発された人間の健康と快適性の評価に特化した世界初の建物認証システムで、室内における人間と空間の関係の中で7つのカテゴリについて評価。

※7つのカテゴリ：(1)空気 (2)水 (3)食物 (4)光 (5)フィットネス (6)快適性 (7)こころ

地球温暖化防止に向けた取り組み

◆「おおさかストップ温暖化賞」優秀賞を3年連続受賞

大阪府環境農林水産部が主催し、温暖化防止等に関する事業の意欲を高めるとともに、地球温暖化防止対策やヒートアイランド現象の緩和対策、電気需要の平準化対策の普及促進を目的に、事業活動で優れた取り組みを実施した事業者を表彰するもの。

<実績>

削減率(原単位ベース)：8.3% (2015年度比)

<対象施設>

- ・イオンモール寝屋川
- ・イオンモール鶴見緑地
- ・イオンモール堺北花田
- ・イオンモール四條畷
- ・イオンモールりんくう泉南
- ・イオンモール堺鉄砲町



◆「京都市事業者排出量削減計画書制度」特別優良事業者を初受賞

京都市地球温暖化対策条例に基づく事業者排出量削減計画書制度において、3年間の計画期間ごとに排出量削減計画書及び報告書を総合的に評価し、特に優れた取り組みをした事業者を表彰するもの。

<実績>

削減率(総量ベース)：13.5% (2013年度比)

<対象施設>

- ・イオンモール京都五条
- ・イオンモールK Y O T O
- ・イオンモール京都桂川



「第2回 ベトナム ハノイ桜植樹」を実施

公益財団法人イオン環境財団(理事長 岡田卓也 イオン株式会社名誉会長相談役)は3月10日(土)ベトナムハノイ市のホアビン平和公園において、「第2回 ベトナム ハノイ桜植樹」を実施。

